LIXIL

ダブルエントランス 壁付タイプ 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●戸建住宅専用商品です。マンション等の高頻度に開閉する場所への設置はできません。
●崖上や風の通り道等の強風地域および豪雪地域への施工は避けてください。
●製品の作動範囲に障害物が無いか確認してください。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・推奨締付けトルク：2.5N·m ± 0.5N·m（25±5kgf·cm）

🔑ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●シーリング材・バックアップ材は現場で手配してください。
●施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。

＜施工上のご注意＞

注 意

●ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。

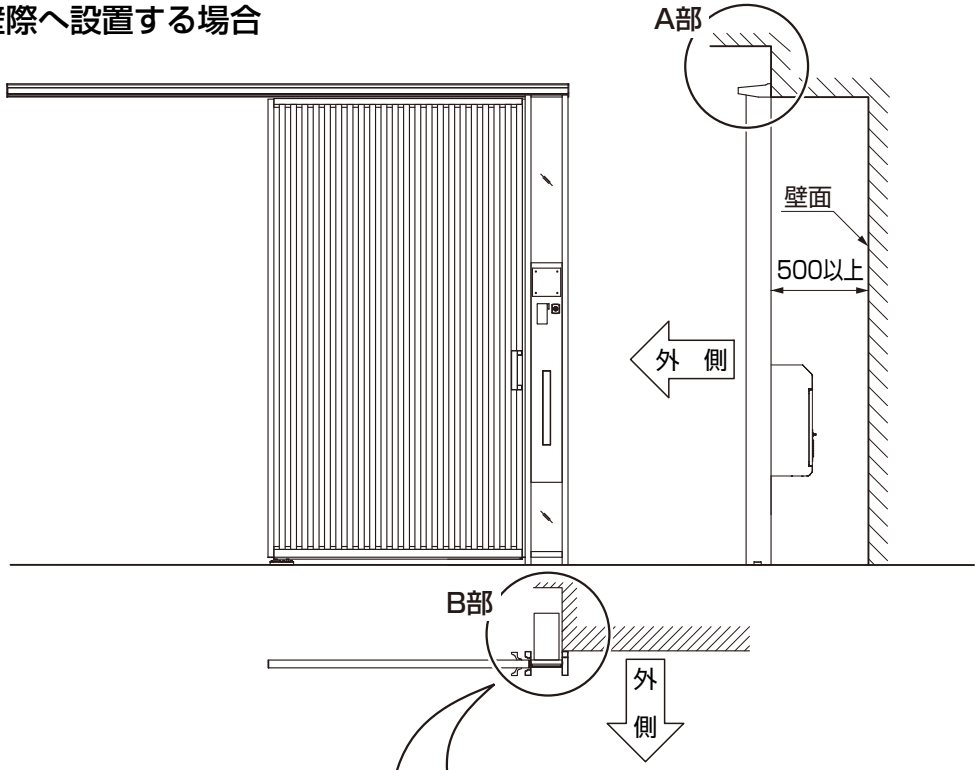
ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●柱・フレームの施工寸法に狂いが生じていないか、確認してください。
指定寸法から外れると以下の不具合が発生するおそれがあります。
・パネルの吊下げができなくなります。
・施錠ができなくなります。
・施工後、正常な開閉ができなくなります。

1. 施工前の重要確認事項

1-1 施工条件

（1）壁際へ設置する場合



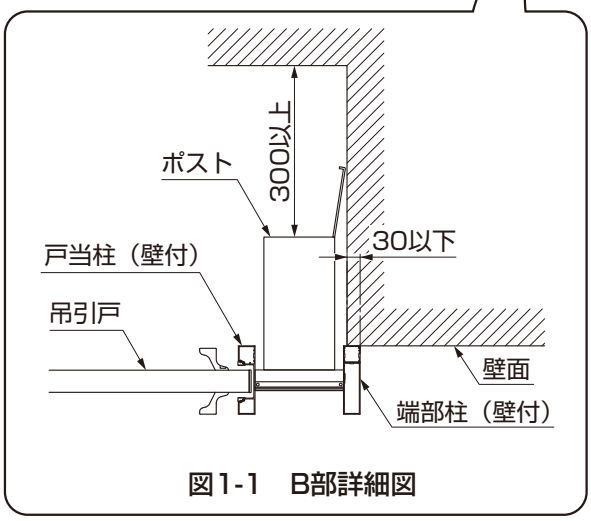


図1-1　B部詳細図

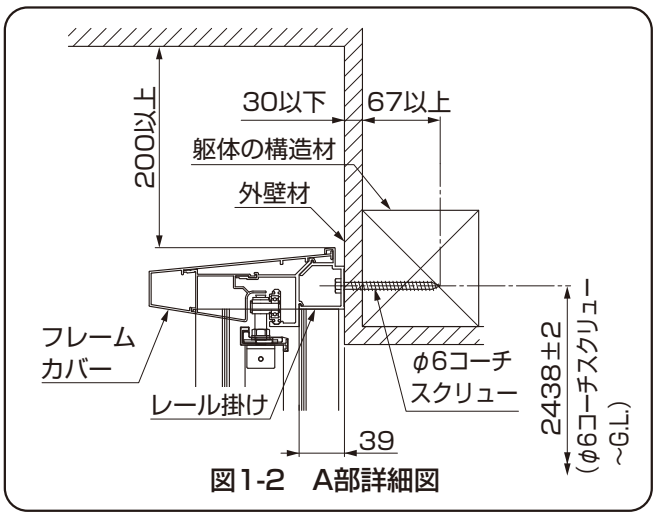


図1-2　A部詳細図

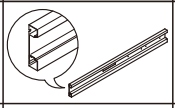
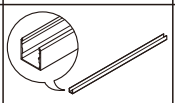
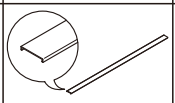
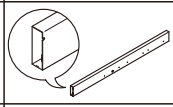
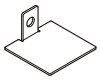
ポイント

●レール掛け取付部分の外壁の厚さは30mm以下にしてください。30mmよりも厚くする場合は、躯体構造材への取付け深さが67mm以上になるようにコーチスクリューを現場手配してください。（図1-2参照）
●柱の背面は壁面から500mm以上離して施工してください。
柱と壁面の間隔が狭いと、柱の背面側からの施工ができなくなります。
●ポストの背面は壁面から300mm以上離して施工してください。
ポストと壁面の間隔が狭いと投函物が取出せなくなるおそれがあります。
●フレームカバーの上部は壁面から200mm以上離して施工してください。
フレームカバーと壁面の間隔が狭いとフレームカバーの取付が出来なくなります。
●端部柱と壁面の重なりは30mm以下にしてください。
重なり寸法が大きいとポストの取付けができなくなります。（図1-1参照）

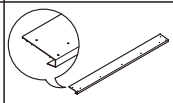
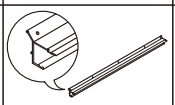
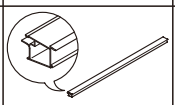
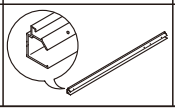
B075_201302A

2. 梱包明細表

【1】柱

名　　称	略　図	員数 右 ファンクション用	員数 左 ファンクション用
戸当柱（壁付）		1	1
隙間塞ぎ（壁付）		1	1
隙間塞ぎカバー（壁付）		1	
端部柱（壁付）		1	1
隙間塞ぎ端部キャップ		2	
【1-1】φ4×13ナベドリルネジ		2	

【2】フレーム

名　　称	略　図	員数 右 ファンクション用	員数 左 ファンクション用
ガラス枠　上（壁付）		1	
フレームカバー（壁付）		1	
レール（壁付）		1	1
レールカバー（壁付）		1	
レール掛け（壁付）		1	1

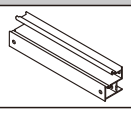
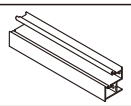
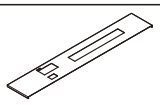
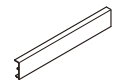
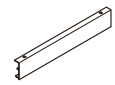
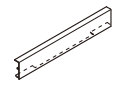
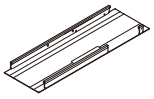
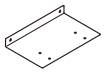
【3】吊引戸本体　縦格子

名　　称	略　図	員数 右 ファンクション用	員数 左 ファンクション用
吊引戸　縦格子		1	1

【4】吊引戸本体　縦板張

名　　称	略　図	員数 右 ファンクション用	員数 左 ファンクション用
吊引戸　縦板張		1	1

【5】ファンクションパネル

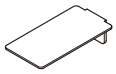
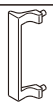
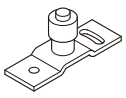
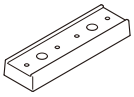
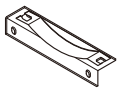
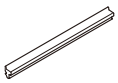
名　　称	略　図	員数 インターホン内蔵	員数 インターホン面付
Fガラス枠-1		2	
Fガラス枠-3		2	
ファンクションパネル		右ファンクション用または左ファンクション用 1	
Fガラス枠カバー		2	
Fガラス枠カバー（パネル受）		1	
Fガラス枠カバー（下）		1	
センターブロックベース		右ファンクション用または左ファンクション用 1	
インターホン子機取付金具A		1	−
セッティングブロック（t=2）		4	−
セッティングブロック（t=10）		2	−
【5-1】M4×8ナベ小ネジ		2	−
【5-2】M4×8サラ小ネジ		2	−
【5-3】M4×12ナベ小ネジ		2	−
【5-4】M4×18ナベ小ネジ		2	−
【5-5】M4×6ナベ小ネジ		2	−

【6】ファンクション用ガラス

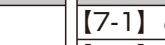
名　　称	略　図	員数
ファンクション用強化ガラス		上下各1

B075_201302A

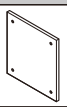
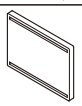
【7】部品セット

名　　称	略　図	員数
ファンクション 補強材		3
ガラス枠（下）取付金具A		2
ガラス枠（下）取付金具B		2
ガラス枠端部塞ぎ板B		1
セッティングブロック（t=10）		4
ハンドル（外）		1
ハンドル（内）		1
フレームカバー端部キャップ		LR各1
ポスト取付スペーサーネジ		4
下ガイドローラー		2
下ガイドローラー台座		1
減速部品		2
後付ビード		4
注意シール		1
柱固定ブラケット		2
クッションゴム		1

【7】部品セット　つづき

名　　称	略　図	員数
【7-1】φ4×13ナベドリルネジ		25
【7-2】φ4×12六角タッピンネジ1種		2
【7-3】M4×8ナベ小ネジ		4
【7-4】φ4×12トラスタッピンネジ3種		18
【7-5】φ4×15サラタッピンネジ2種		4
【7-6】M4×35トラス小ネジ		2
【7-7】M4×30トラス小ネジ		2
【7-8】M4×8十字穴付き六角ボルト（PW+SW）		4
【7-9】φ6×100六角コーチスクリュー		8
【7-10】M6平座金		8
【7-11】M5×10六角ボルト（PW+SW）		4
【7-12】フィッシャープラグ S6		4
【7-13】φ4×30ナベタッピンネジ1種		4
取付説明書〈B075〉	－	1
取扱説明書〈UB012〉	－	1

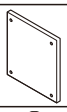
【8】サイン（ガラスサイン・鋳物サイン）

名　　称	略　図	員数		
		ガラスサイン	鋳物サイン	ガラスサイン（特注）
ガラスサイン		1	－	1
鋳物サイン		－	1	－
ネームシール		2（※）	1	－
【8-1】化粧ネジM4用		4	－	4
【8-2】M4×20ナベ（SW+PW）		4	－	4
【8-3】ゴムスペーサー L=6		4	－	4
【8-4】M4ゴムワッシャー		4	－	4
【8-5】φ4×6トラスタッピンネジ3種		－	2	－
【8-6】M4六角ナット		－	－	－

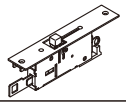
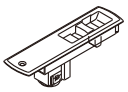
※黒文字と白文字の2種類同梱しています。

2.（つづき）

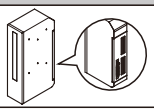
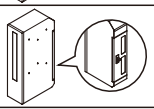
【9】サイン（江戸硝子サイン・備前焼サイン）

名　　称	略　図	員数 江戸硝子サイン（特注）	員数 備前焼サイン（特注）
江戸硝子サイン　150角		1	−
備前焼サイン　145角		−	1
【9-1】化粧ネジM4用		−	4
【9-2】化粧ネジM6用		4	−
【9-3】M6高ナット L=15		4	−
【9-4】M6ゴムワッシャー		8	−
【9-5】M4全ネジ L=25		−	4
【9-6】M6全ネジ L=40		4	−
【9-7】M4六角ナット		−	4
【9-8】M6六角ナット		4	−

【10】プッシュプルPG錠

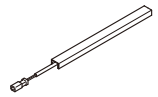
名　　称	略　図	員数
ストライク		1
戸先錠ケース　ラッチなし		1
戸先内外錠ユニット		1
シリンダー座		1
キー		3
【10-1】φ4×16サラタッピンネジ3種		3
【10-2】M4ハサミナット		1
【10-3】M4×16サラ小ネジ（頭塗装）		1

【11】スリム縦型ポスト

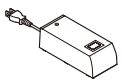
名　　称	略　図	員数 プッシュ錠付き	員数 錠なし
ポスト本体 プッシュ錠付き		1	−
ポスト本体 錠なし		−	1
取付説明書〈A460〉	−	1	1
取扱説明書〈UA172〉	−	1	1

【12】LED照明　　オプション

※別途、トランス電源ユニットW25（屋外用）が必要です。

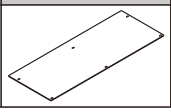
名　　称	略　図	員数
LEDユニット		1

【13】トランス電源ユニットW25（屋外用）

名　　称	略　図	員数
トランス電源ユニットW25（屋外用）本体		1
【13-1】φ4.1×38十字穴付き フランジ付き丸木ネジ		2（※）
【13-2】カールPCプラグ7.5×35		2（※）
取付説明書〈Z453〉	−	1
取扱説明書〈UZ261〉	−	1

※ トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

【14】指入れ防止パネル　　オプション

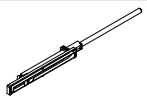
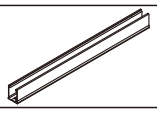
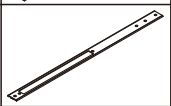
名　　称	略　図	員数
指入れ防止パネル		1

【15】取付ネジ　　オプション

※指入れ防止パネルを取付けるためのネジです。

名　　称	略　図	員数
【15-1】φ4×13ナベドリルネジ		50

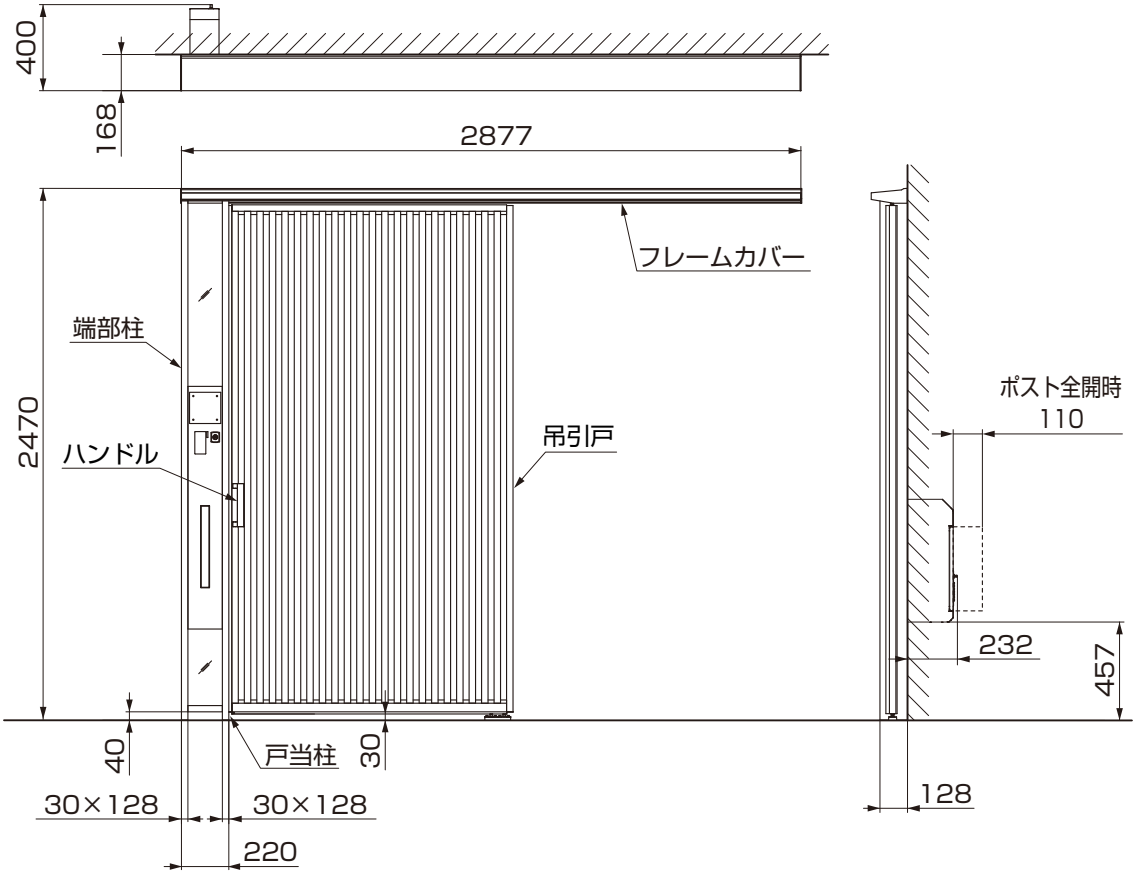
【16】落し棒セット　　オプション

名　　称	略　図	員数
落し棒		1
落し棒カバー		1
落し棒フロントカバー		1
落し棒ガイド		1
落し棒上キャップ		1
落し棒下キャップ		1
落し棒受		2
【16-1】M4ターンナット		4
【16-2】φ4×20トラスタッピンネジ3種		4
【16-3】φ4×10サラタッピンネジ3種		2
【16-4】φ4×10サラタッピンネジ2種		2

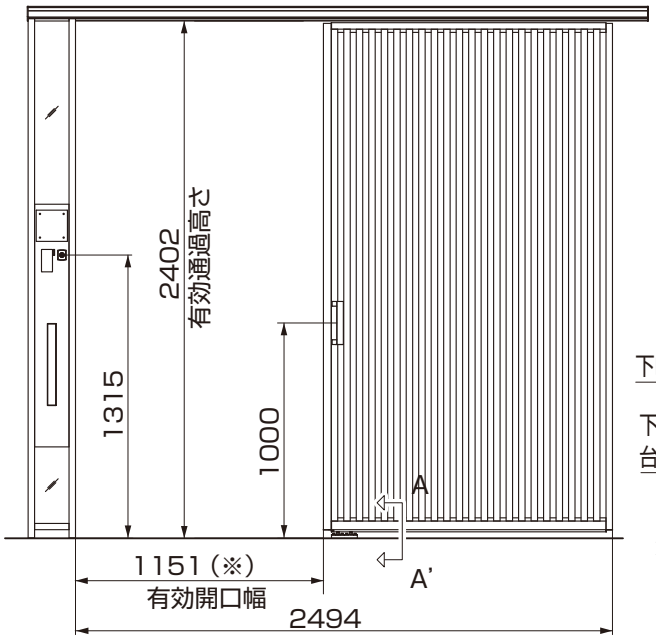
B075_201510C

3. 基本寸法と各部の名称

3-1 基本寸法と各部名称 ※図は左ファンクション、縦格子引戸の場合を示します。



3-2 有効寸法



※落し棒（オプション）取付け時：1100以下

3-3 ファンクション部詳細図

※図は左ファンクションの場合を示します。

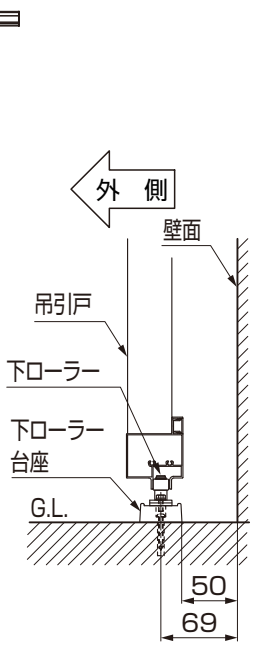
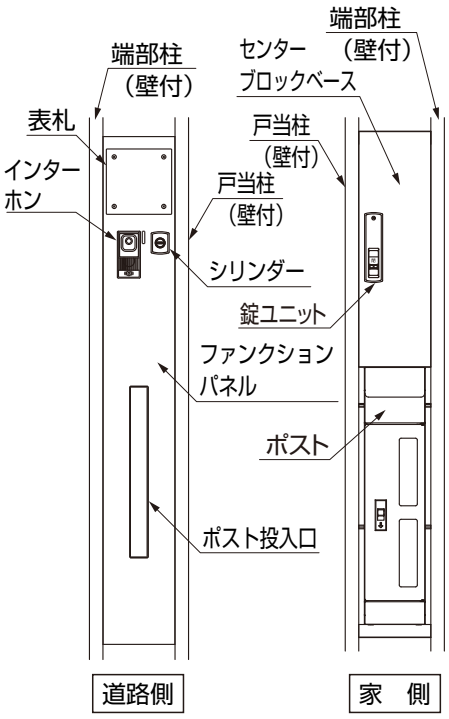


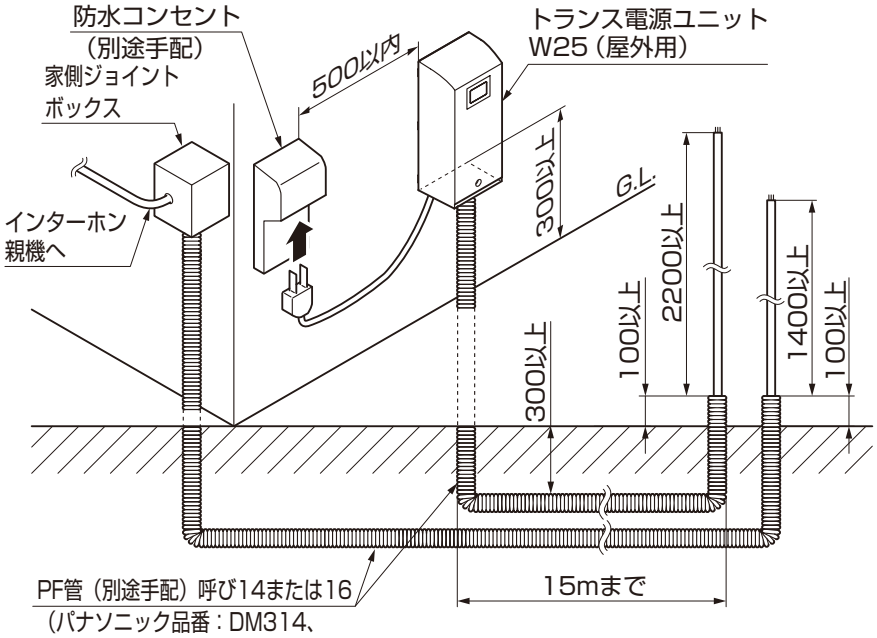
図3-1
断面A－A'



B075_201302A

4. 基礎施工前の準備　※これより先の説明の図は、全て右ファンクションの場合を示します。

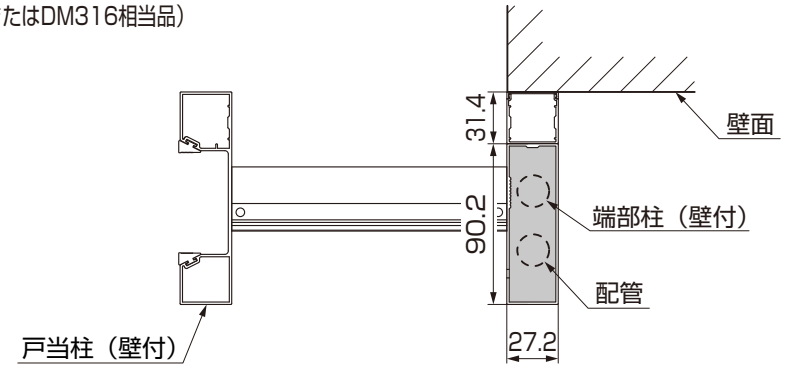
4-1 配線工事　※インターホンまたはLED照明を取付ける場合



①照明およびインターホン用の配線配管をしてください。

ポイント

- ●配管はG.L.より100mm以上立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
- ●照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- ●トランス電源ユニットW25（屋外用）の取付けは、トランス電源ユニットW25（屋外用）内の取付説明書を参照してください。

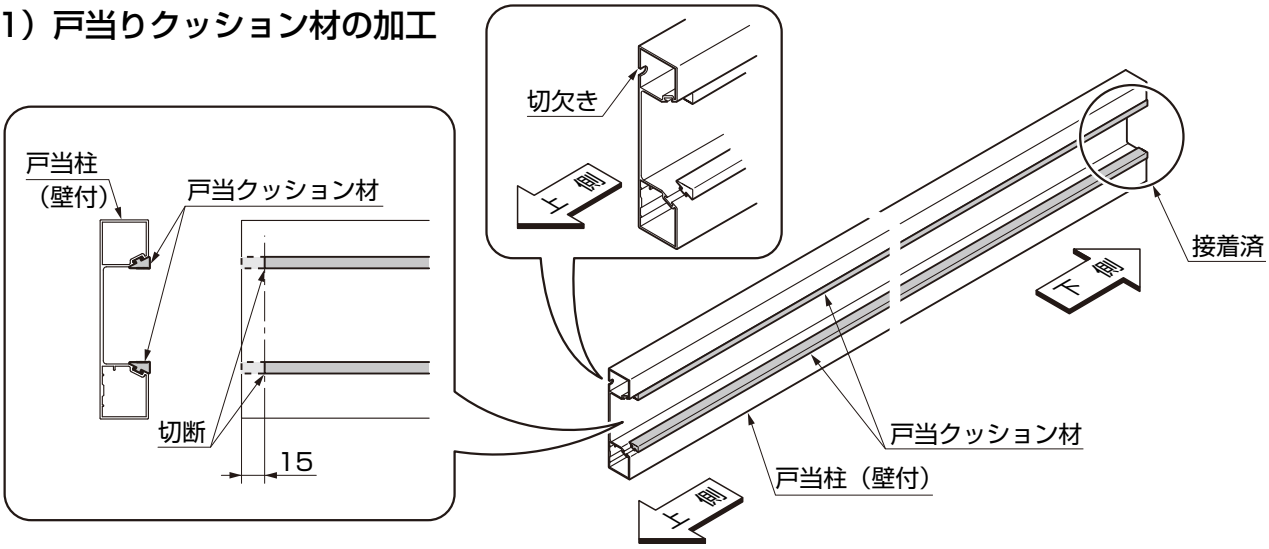


ポイント

- ●配管が端部柱の　　の範囲に納まるようにしてください。端部柱の　　の範囲に納められない場合は、市販の配管引込みカバーなどを用いて端部柱に引込んでください。

4-2 柱の準備

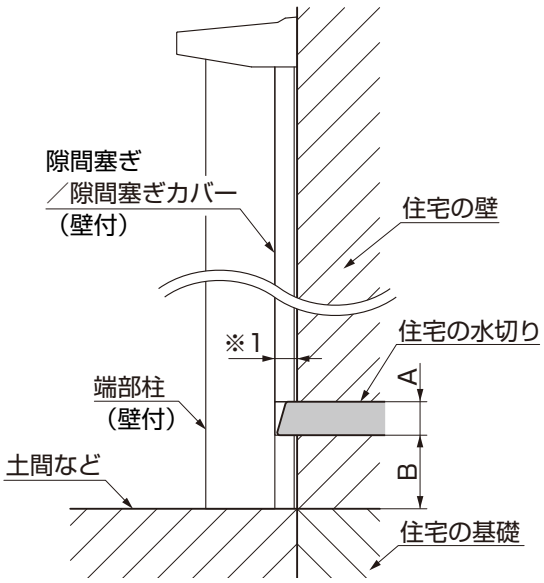
（1）戸当りクッション材の加工



①戸当クッション材を戸当柱（壁付）の上端から15mm切断してください。

B075_201302A

（2）端部柱（壁付）の加工



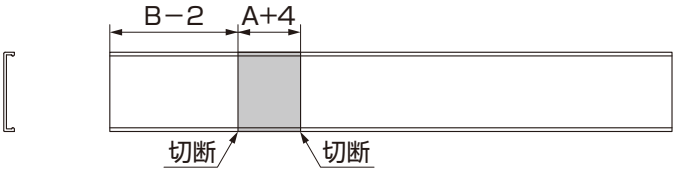


図4-1隙間塞ぎカバー（壁付） の切断

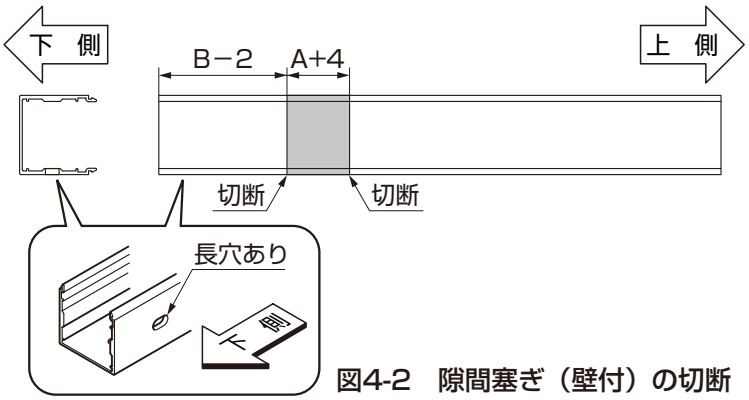


図4-2 隙間塞ぎ（壁付）の切断

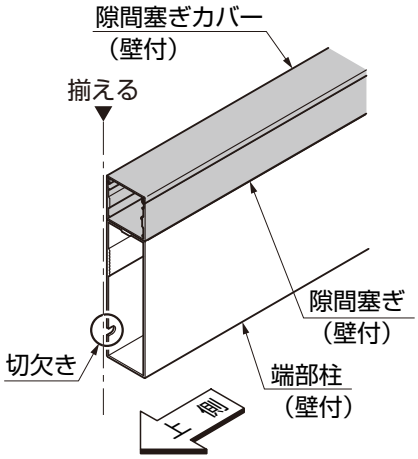
①隙間塞ぎと隙間塞ぎカバーを切断してください。

ポイント

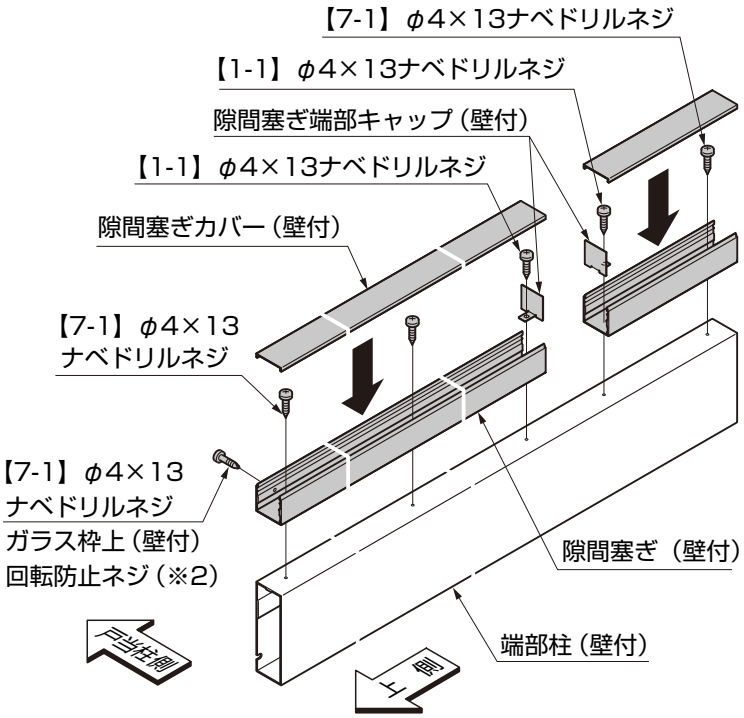
●住宅の水切りの出幅寸法（※1）が30mm以上の場合は、住宅の水切りを切欠き加工してください。

（3）端部柱（壁付）の組立て

ポイント



●隙間塞ぎ（壁付）と隙間塞ぎカバー（壁付）が、端部柱（壁付）より上にはみ出さないように取付けてください。



①隙間塞ぎ（壁付）と隙間塞ぎ端部キャップ（壁付）を端部柱（壁付）に【1-1】で取付けてください。
②隙間塞ぎカバー（壁付）を隙間塞ぎ（壁付）にはめ込んでください。
③【7-1】を端部柱（壁付）に取付けてください。

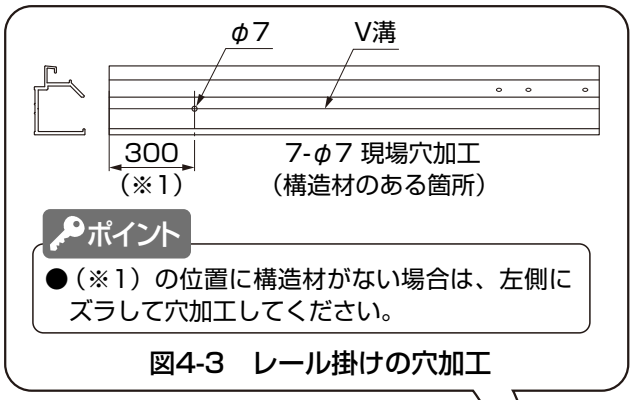
補足

●※2の【7-1】はガラス枠上（壁付）を取付けの際、回転するのを防ぐためのネジです。

4.（つづき）

4-3 レール掛けの取付け　※図は右ファンクションの場合を示します。

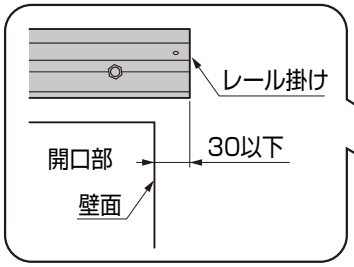
（1）レール掛けの取付け

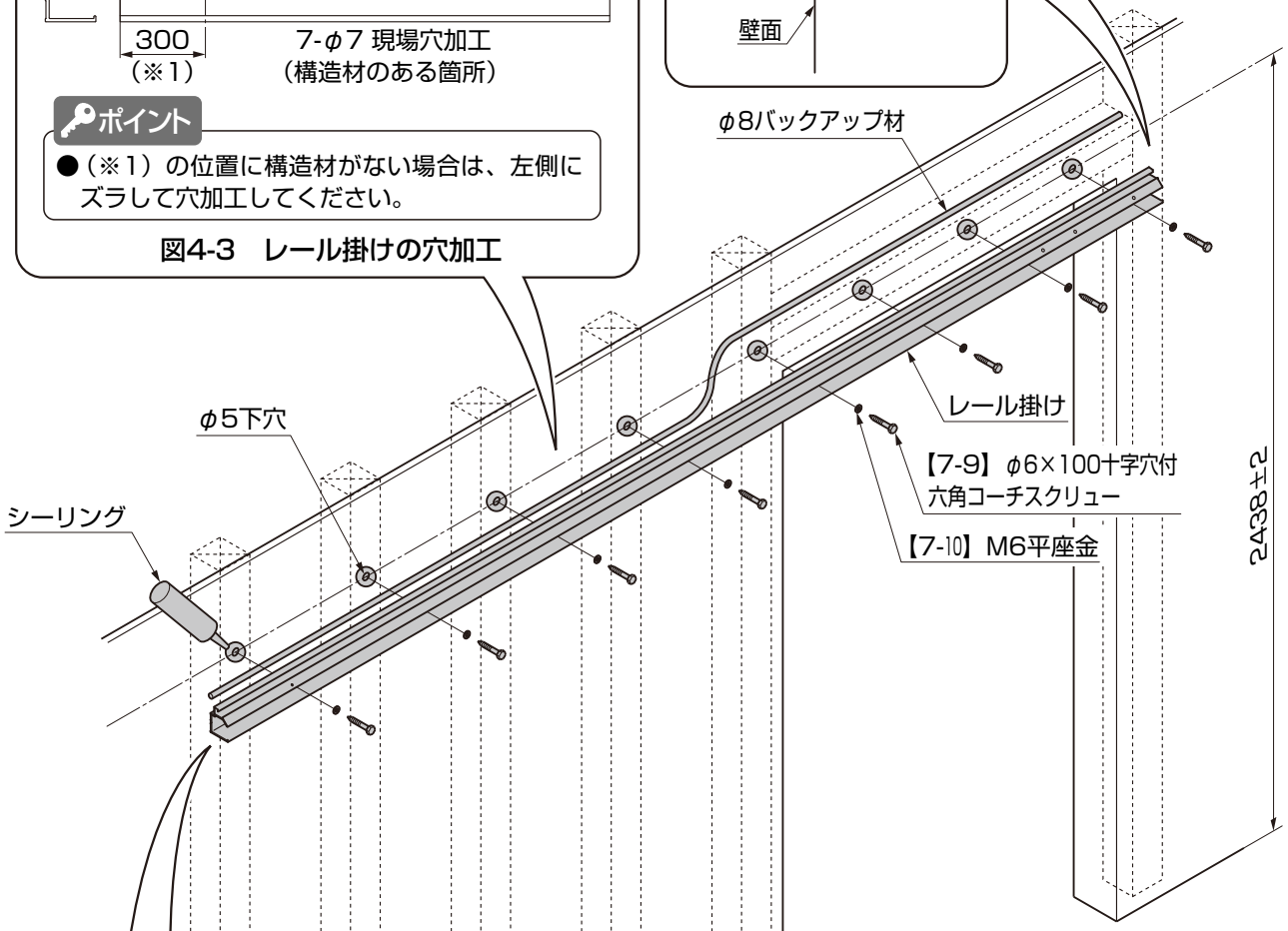


ポイント

●（※1）の位置に構造材がない場合は、左側にズラして穴加工してください。

図4-3　レール掛けの穴加工





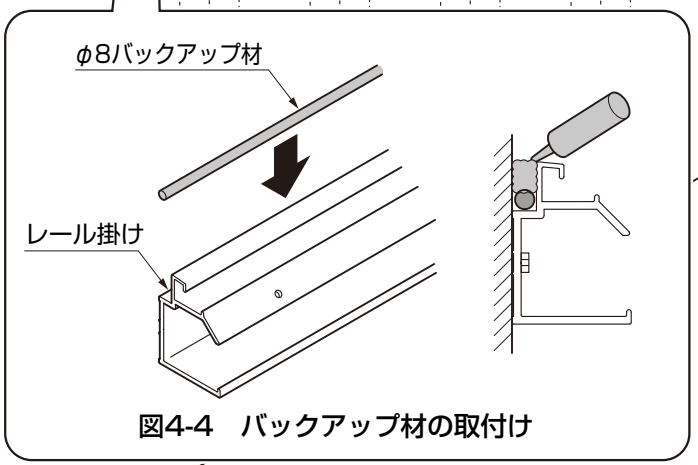


図4-4　バックアップ材の取付け

①構造材に合わせてレール掛けにφ7、躯体にφ5の穴加工をしてください。
②躯体にシーリングし、レール掛けを【7-9】、【7-10】で取付けてください。
③バックアップ材をレール掛けに取付けてください。
④躯体とレール掛けの継目をシーリングしてください。

注 意

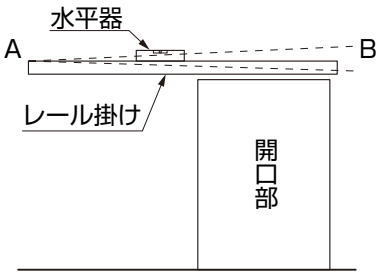
●レール掛けは強度確保のため、必ず躯体構造材に取付けてください。

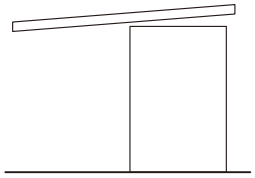
ポイント

●φ7の穴加工の穴ピッチは躯体構造材と同じピッチになるようにしてください。
●レール掛けの取付け高さ、水平、垂直に注意してください。
●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

B075_201302A

（2）レール掛けの水平の確認



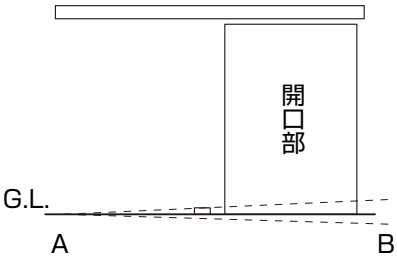


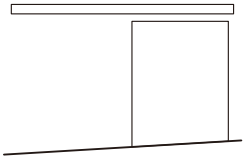
寸法を外れたイメージ

ポイント

●レール掛けに水平器を置き、A、B間が水平であることを確認してください。（±2.5mm以内）

（3）G.L.の水平の確認





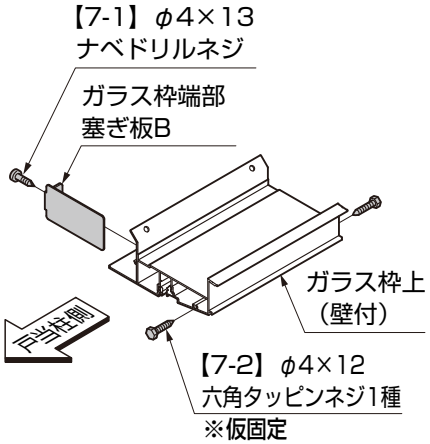
寸法を外れたイメージ

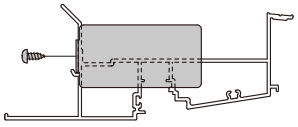
ポイント

●G.L.面A、B間が水平であることを確認してください。
（±2.5mm以内）

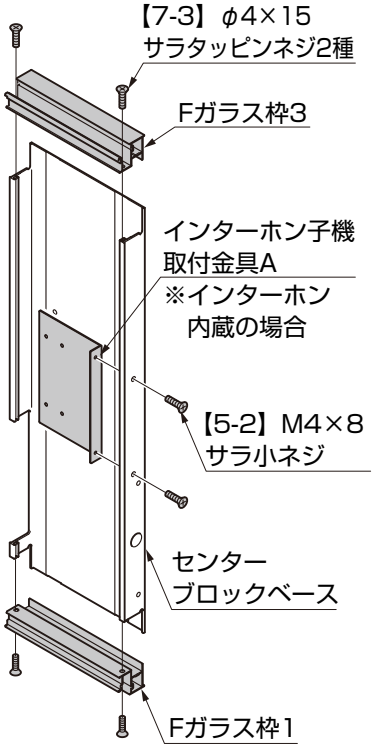
4-4　ファンクション柱の組立て

（1）部品の組立て





①ガラス枠端部塞ぎ板Bをガラス枠上（壁付）に【7-1】で取付けてください。
②ガラス枠上（壁付）に【7-2】を仮固定してください。



③インターホン子機取付金具AとFガラス枠1、3をセンターブロックベースに【5-2】、【7-5】で取付けてください。

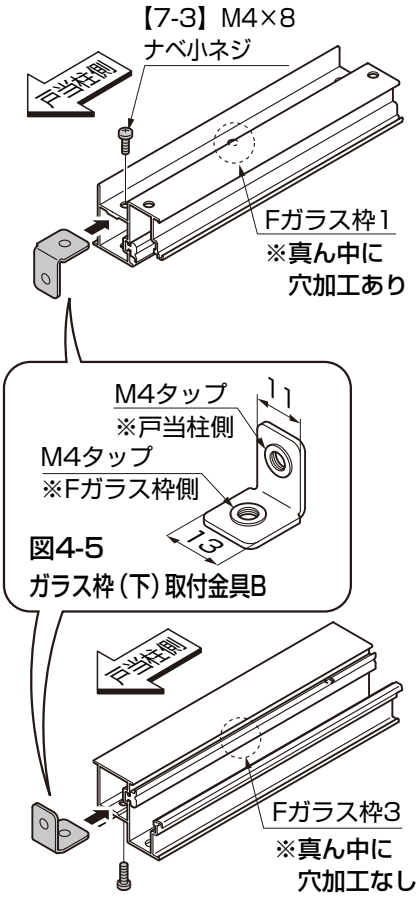


図4-5
ガラス枠（下）取付金具B

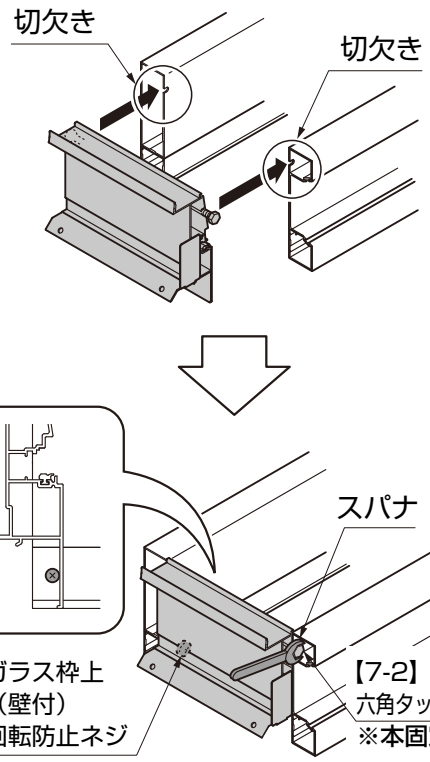
④ガラス枠（下）取付金具BをFガラス枠1、3に【7-3】で取付けてください。

B075_201302A

4.（つづき）

4-4 つづき

（6）ガラス枠上（壁付）の取付け



（2）端部柱（壁付）の組立て

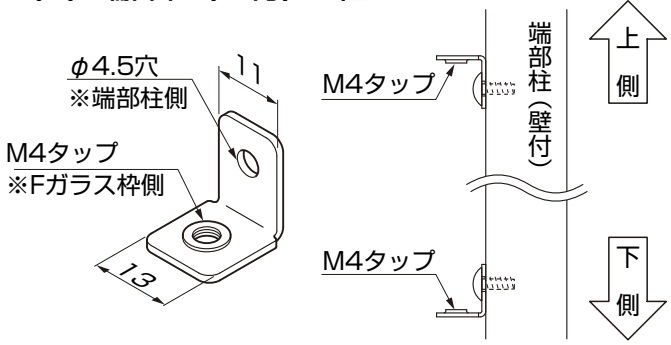
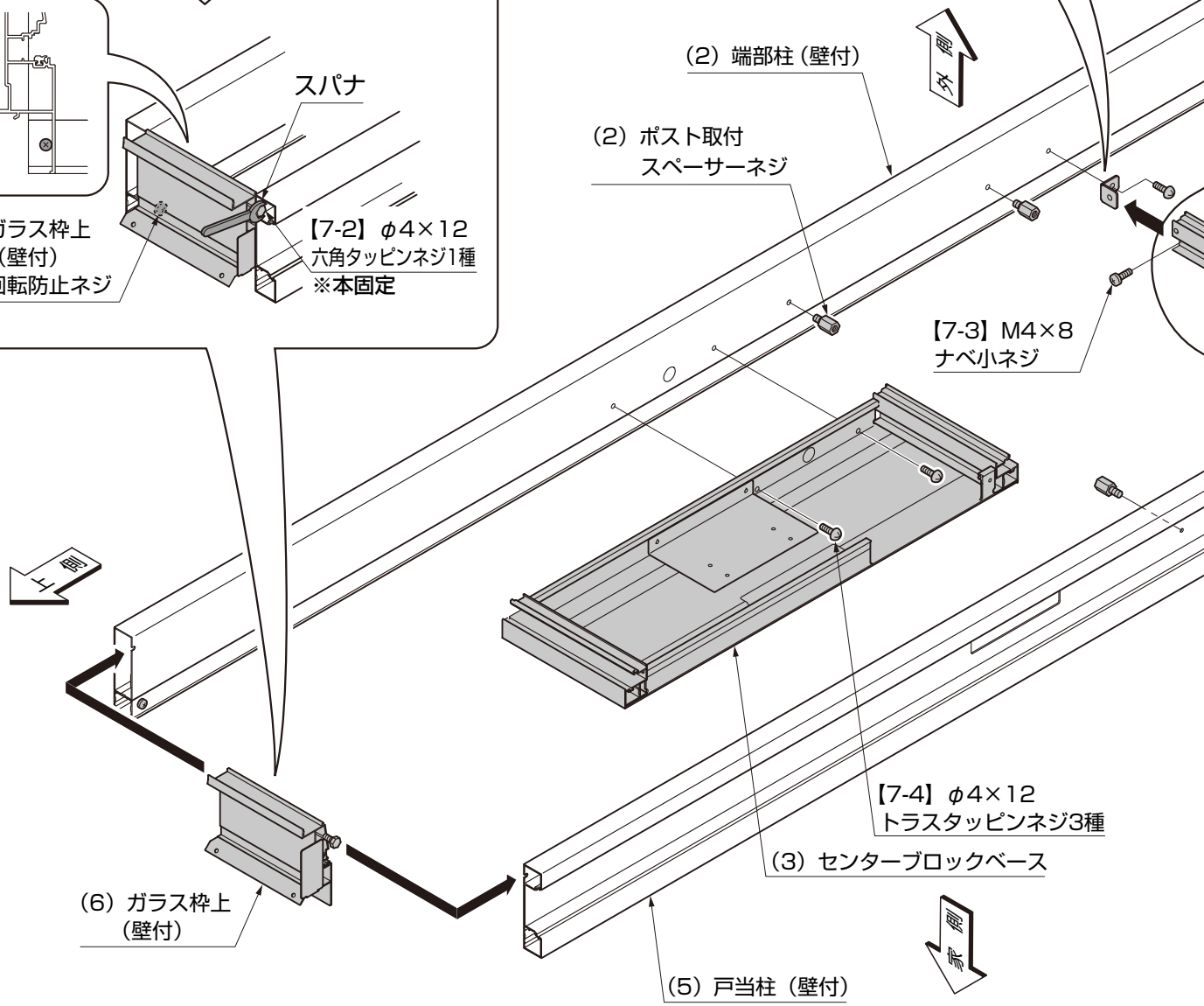
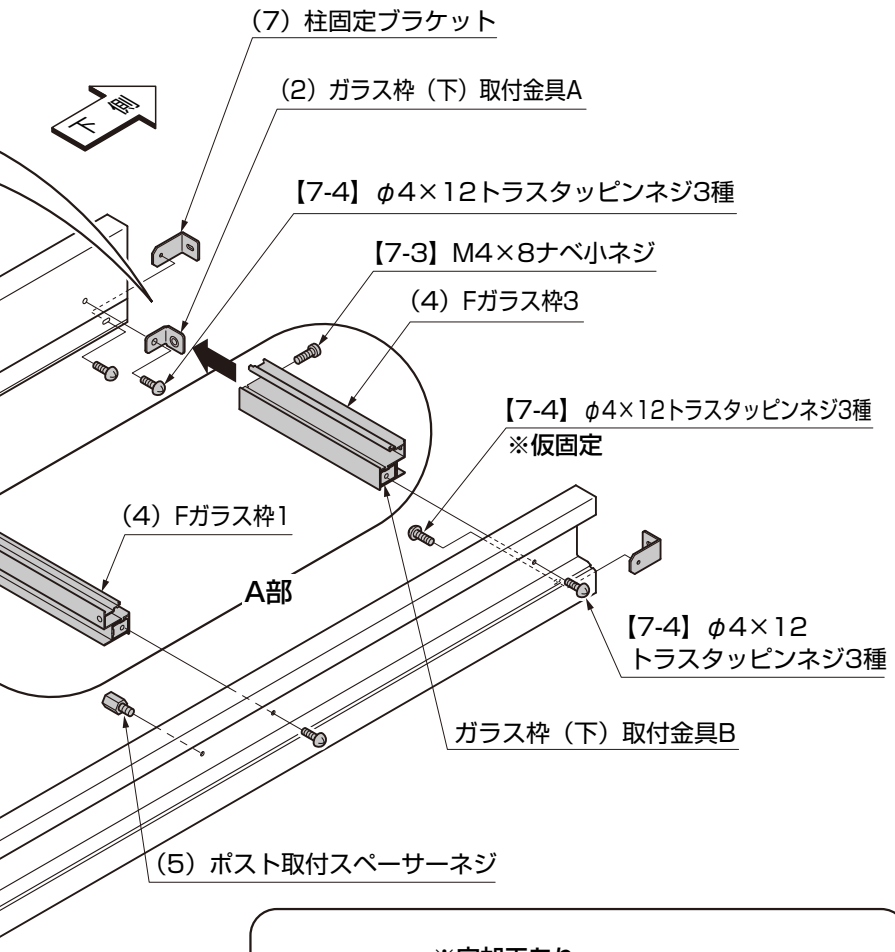


図4-6　ガラス枠（下）取付金具A取付の向き





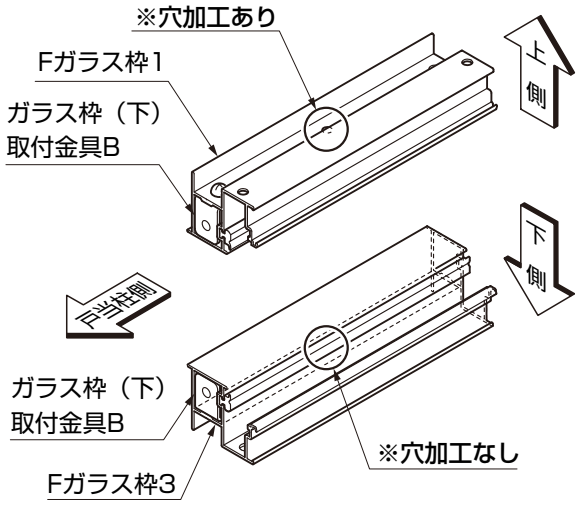


図4-7　A部詳細図

(2) 端部柱 (壁付) の組立て

①ポスト取付スペーサーネジ、ガラス枠 (下) 取付金具Aを端部柱 (壁付) に【7-4】で取付けてください。

ポイント

●ガラス枠 (下) 取付金具Aの取付けには向きがありますのでご注意ください。
(図4-6参照)

(3) センターブロックベースの取付け

①センターブロックベースを端部柱 (壁付) に【7-4】で取付けてください。

(4) Fガラス枠1、3の取付け

①Fガラス枠1、3を端部柱 (壁付) に【7-3】で取付けてください。

ポイント

●Fガラス枠1、3の取付けには向きがありますのでご注意ください。
(図4-7参照)

(5) 戸当柱 (壁付) の取付け

①ポスト取付スペーサーネジを戸当柱 (壁付) に取付けてください。
②戸当柱 (壁付) をFガラス枠1、3に【7-4】で取付けてください。

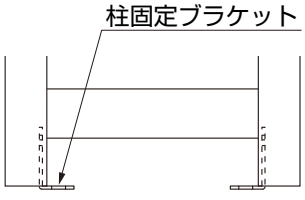
(6) ガラス枠上 (壁付) の取付け

①ガラス枠上 (壁付) を各柱に取付け、【7-2】を本締めしてください。

(7) 柱固定ブラケットの取付け

①柱固定ブラケットを各柱に【7-4】で仮固定してください。

ポイント

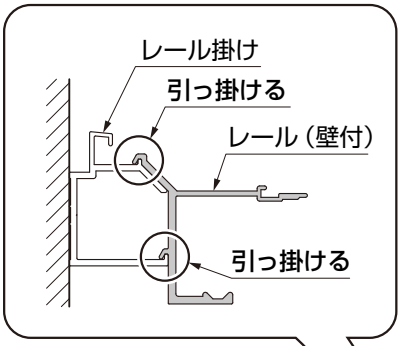


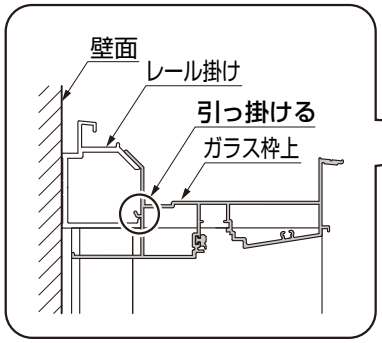
●柱固定ブラケットは、柱の下端に当てて仮固定してください。

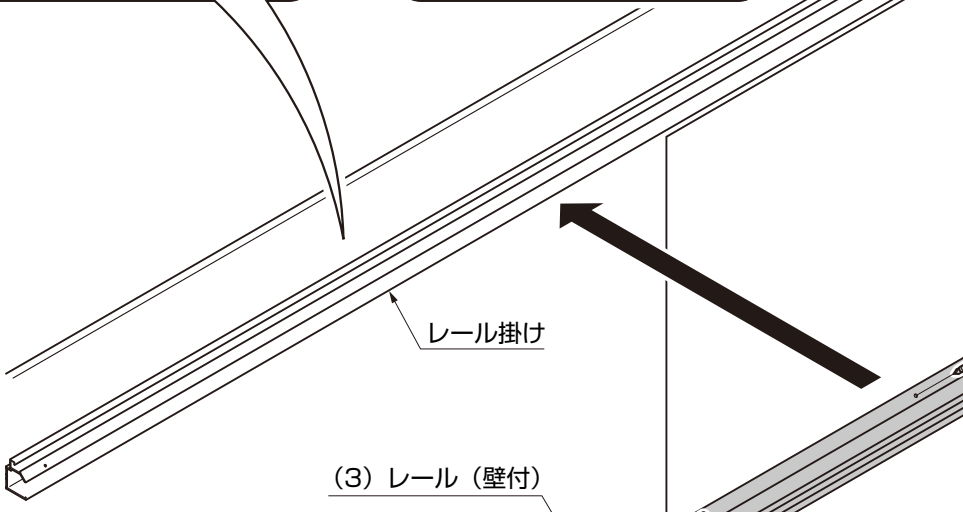
B075_201302A

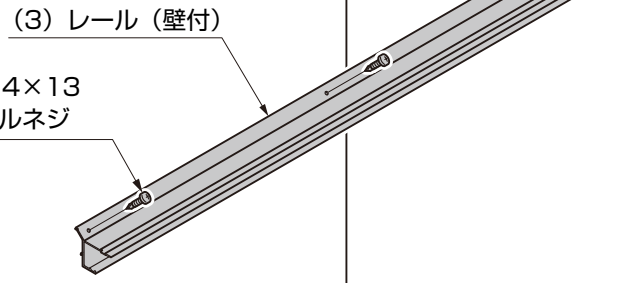
4.（つづき）

4-5 柱とレールの組立て　※図は右ファンクションの場合を示します。









（2）ファンクションユニットの建込み

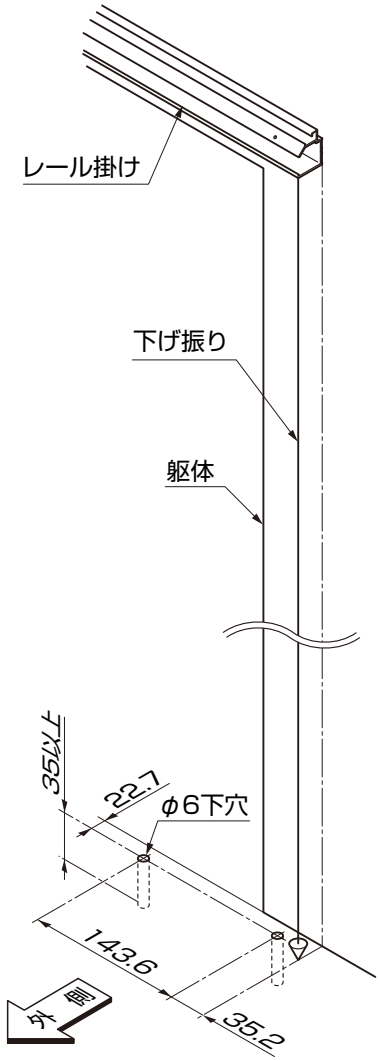
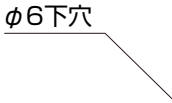
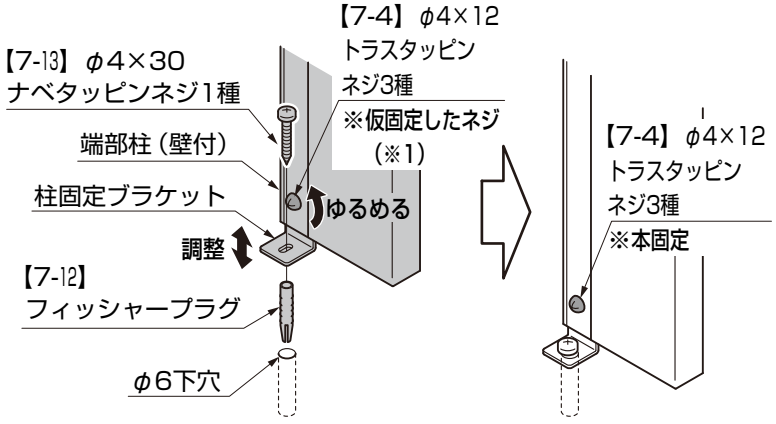
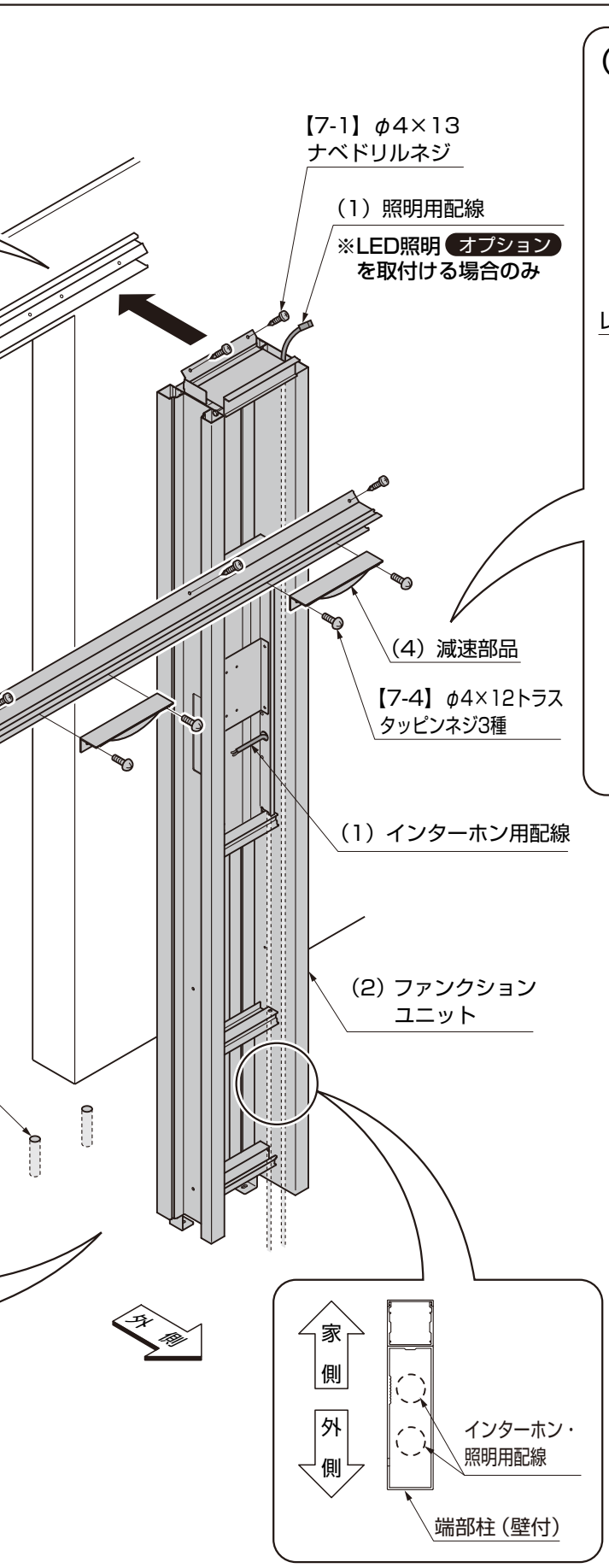


図4-8　穴加工位置

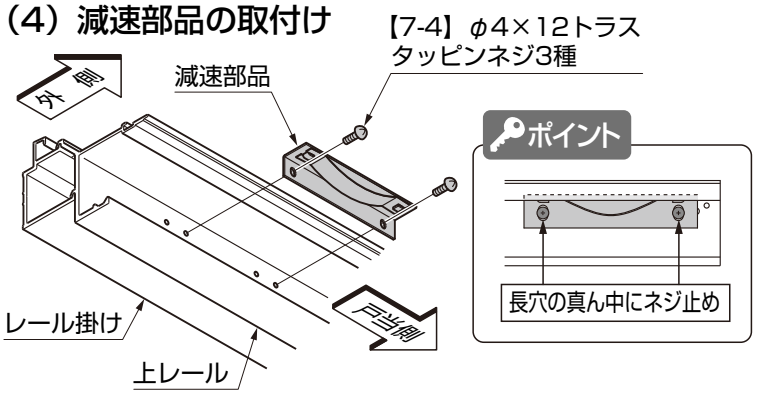


（2）ファンクションユニットの建込み





（4）減速部品の取付け



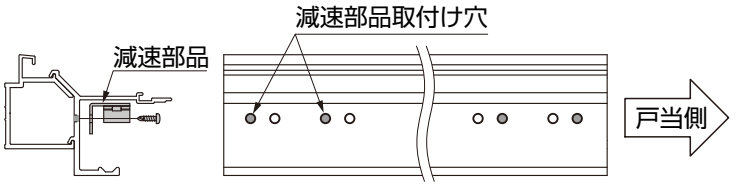


図4-9　吊引戸（縦板張）の場合

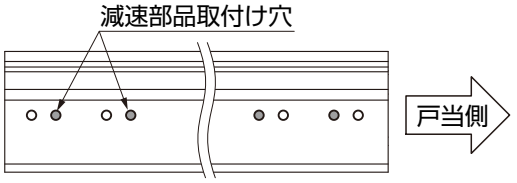
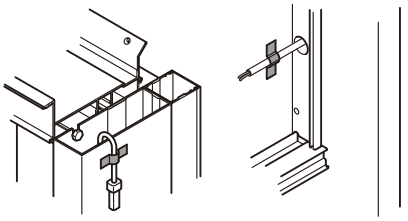


図4-10　吊引戸（縦格子）の場合

（1）配線の引き出し

①照明用配線とインターホン用配線を引出してください。
（※照明用配線の引出しは、LED照明 オプション を取付ける場合のみです。）

ポイント



●引出した配線はテープ止めしてください。

（2）ファンクションユニットの建込み

①G.L.に深さ35以上φ6の下穴をあけ、【7-12】を取付けてください。
②ガラス枠上（壁付）をレール掛けに【7-1】で取付けてください。
③仮固定している【7-4】（※1）をゆるめ、柱固定ブラケットを【7-13】で取付けてください。
④柱固定ブラケットを仮固定している【7-4】（※1）を本固定してください。

（3）レール（壁付）の取付け

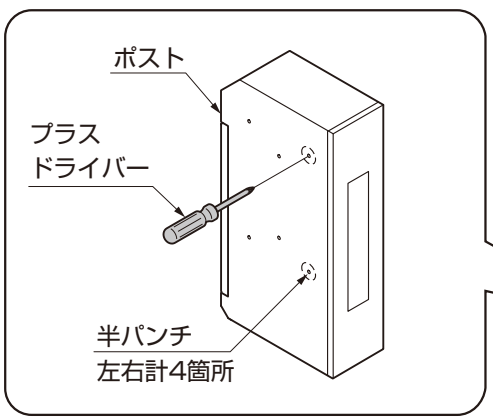
①レール（壁付）をレール掛けに【7-1】で取付けてください。

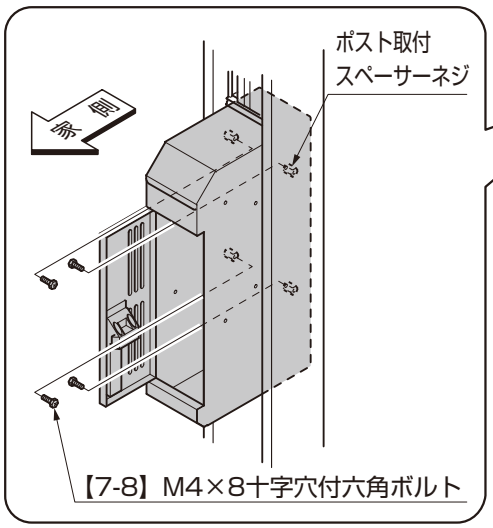
（4）減速部品の取付け

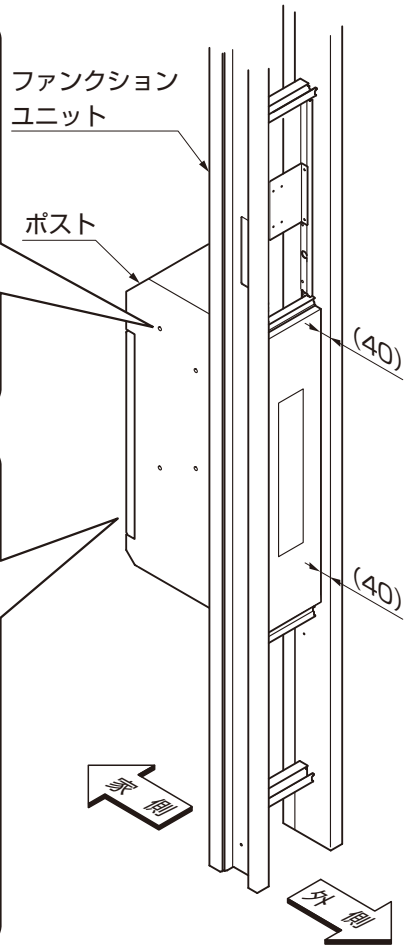
①減速部品をレール（壁付）に【7-4】で取付けてください。

4.（つづき）

4-6 ポストの取付け







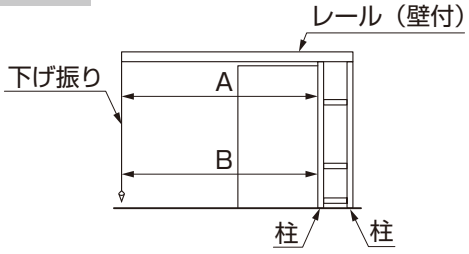
①ポストの半パンチにプラスドライバーをあて、ハンマーなどでたたいて穴をあけてください。
②ポストの内側からポストをファンクションユニットに【7-8】で取付けてください。

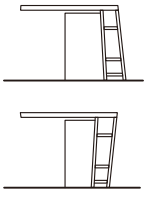
ポイント

●ポストの正面と端部柱・戸当柱正面の段差が、上側と下側で同じになっているか確認してください。

5. 施工寸法の確認

5-1 間口寸法の確認



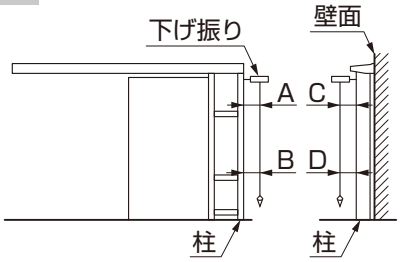


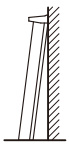
寸法を外れたイメージ

ポイント

●A、B上下2箇所の寸法を下げ振りを使用して測り、誤差がないことを確認してください。

5-2 柱の倒れの確認





寸法を外れたイメージ

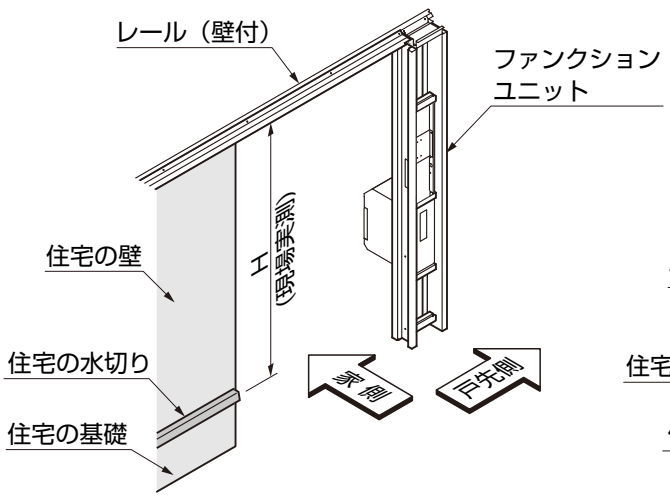
ポイント

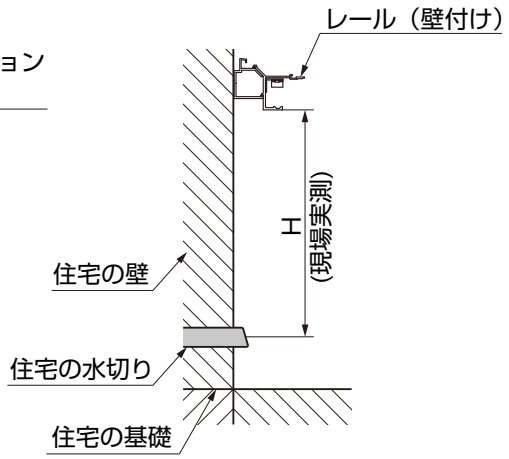
●A、BとC、Dの上下2箇所の寸法を下げ振りを使用して測り、誤差がないことを確認してください。（±2.5mm以内）

B075_201703E

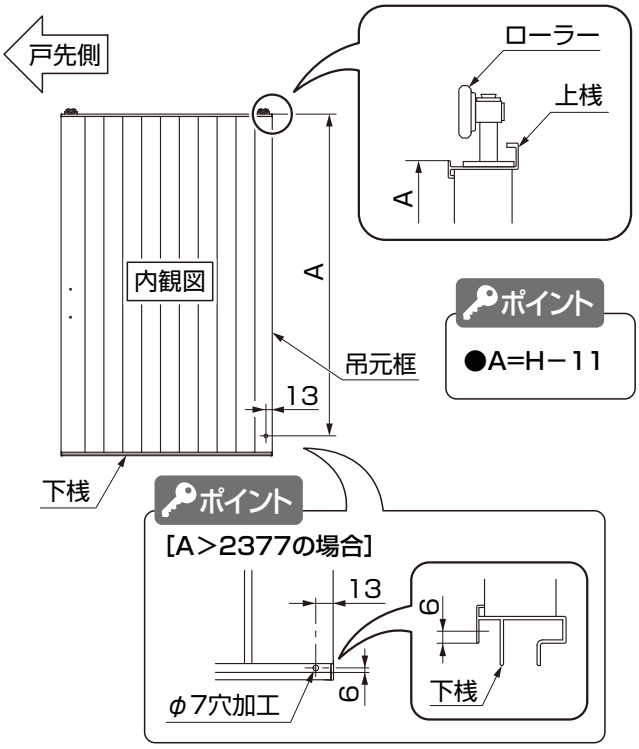
6. 吊引戸の吊込み

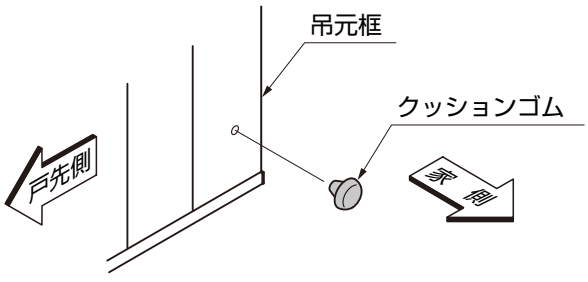
6-1　クッションゴムの取付け



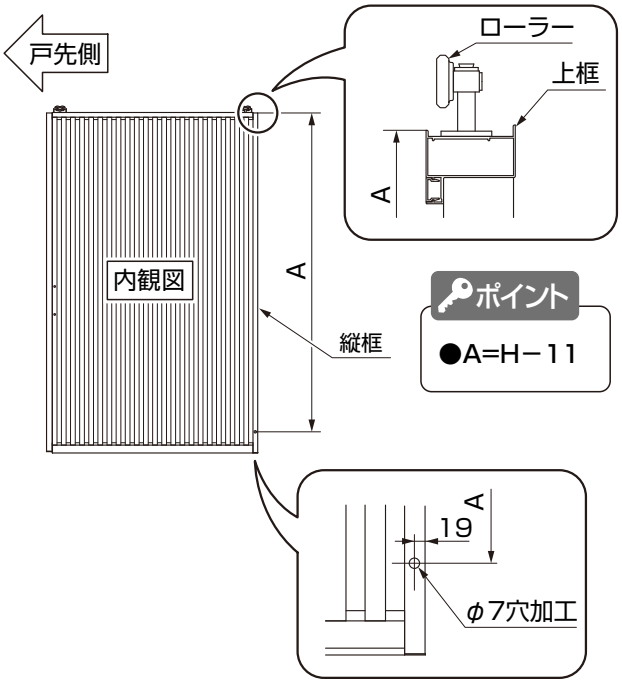


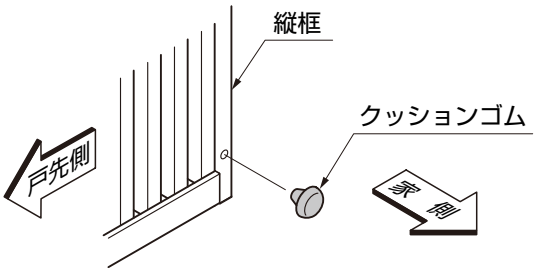
【縦板張の場合】





【縦格子の場合】





①H寸法を現場実測してください。
②吊引戸にφ7の穴加工をしてください。
③クッションゴムを加工穴に取付けてください。

6.（つづき）

6-2　下ローラーの取付け

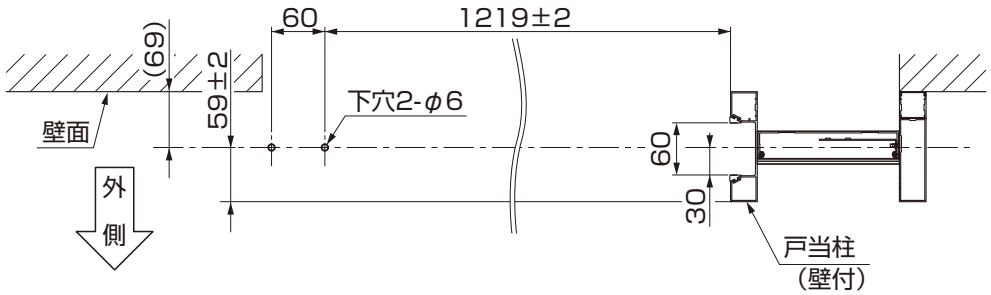
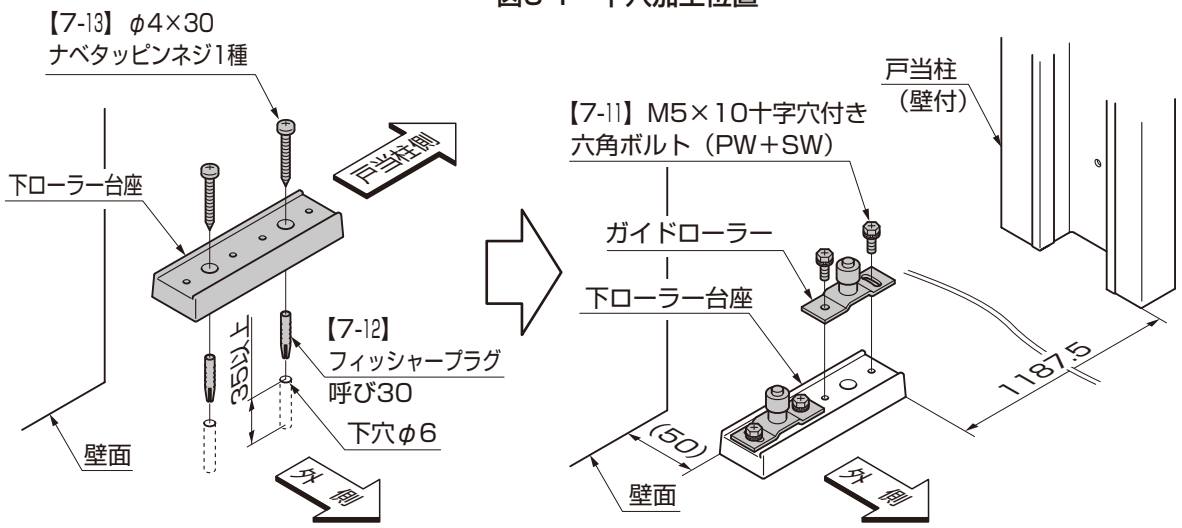


図6-1　下穴加工位置



6-4　下ローラー・減速部品の調整

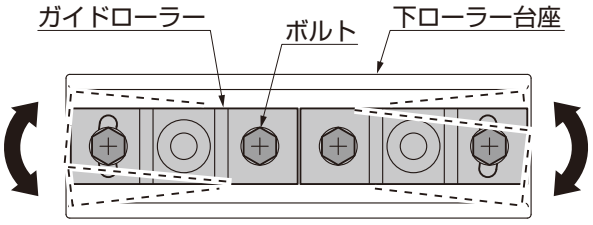


図6-4　下ローラーの調整

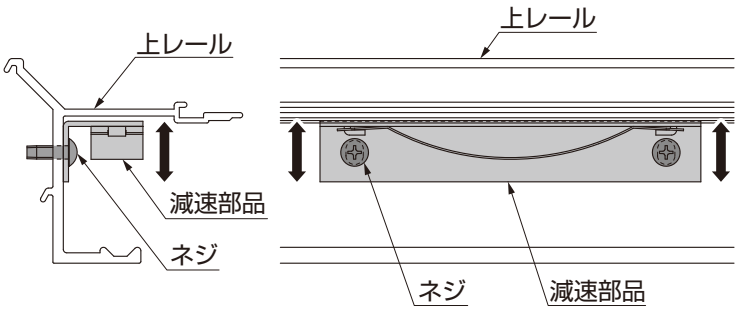
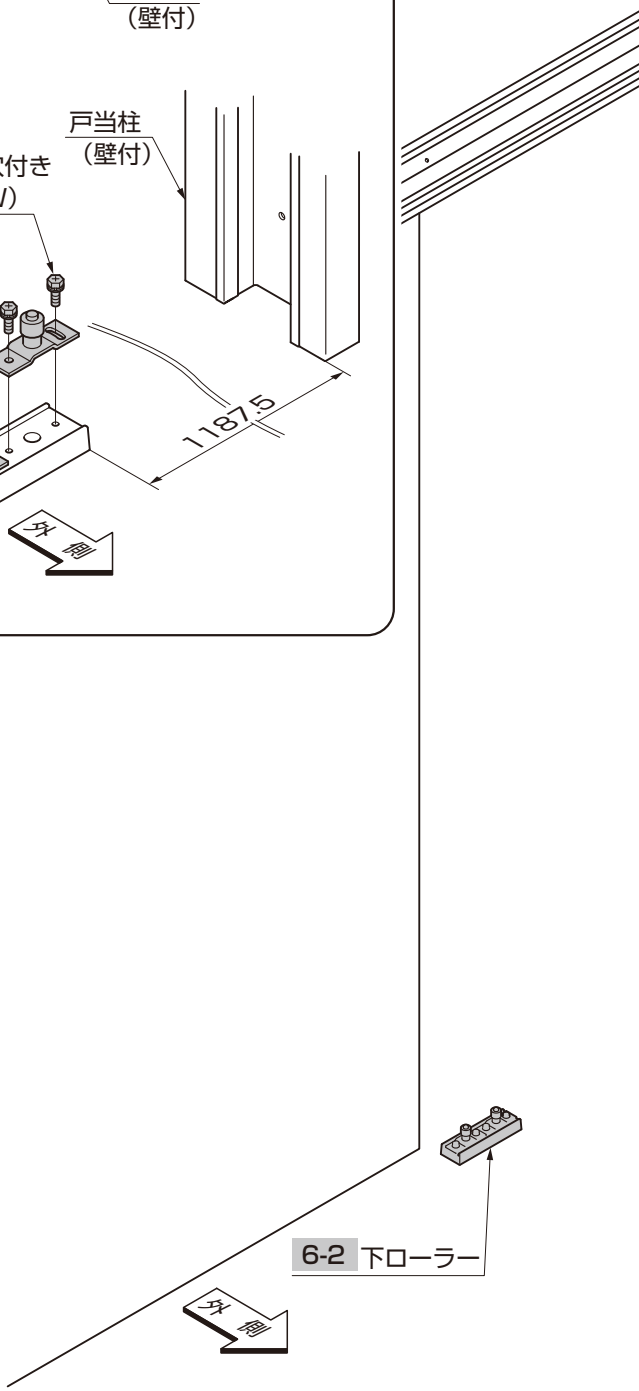
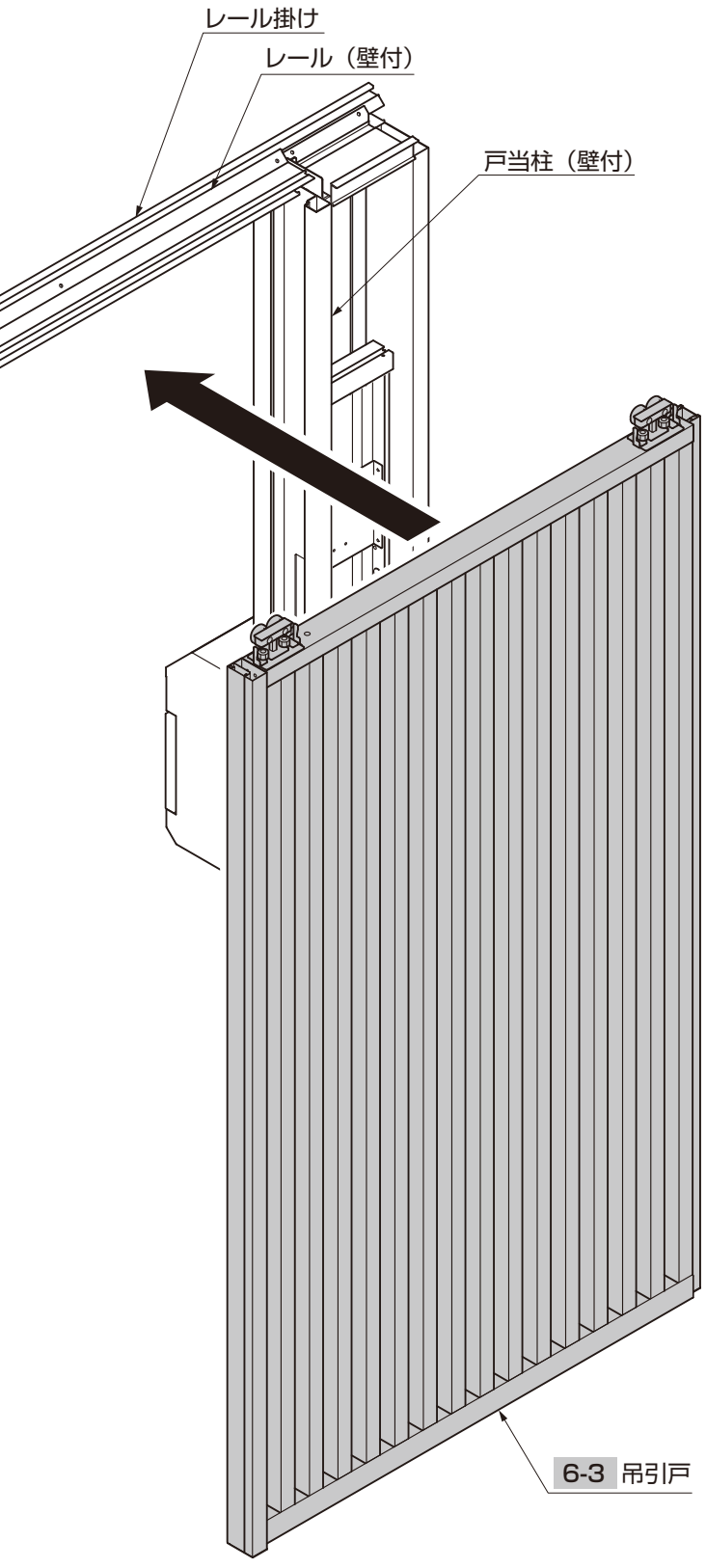


図6-5　減速部品の調整





6-3 吊引戸の吊込み

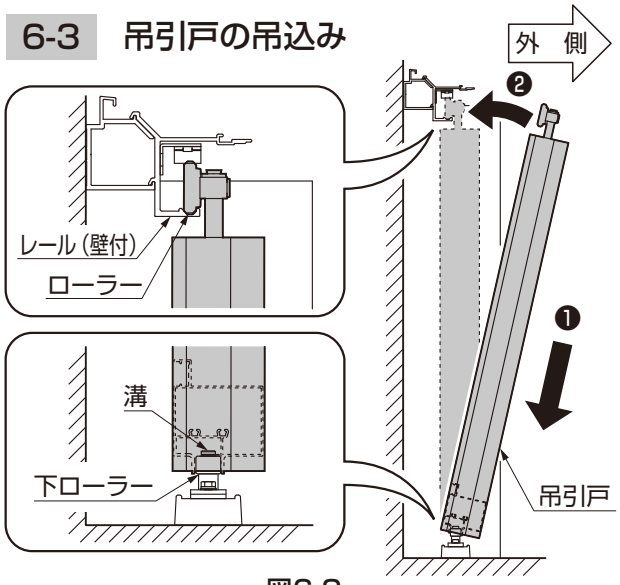


図6-2

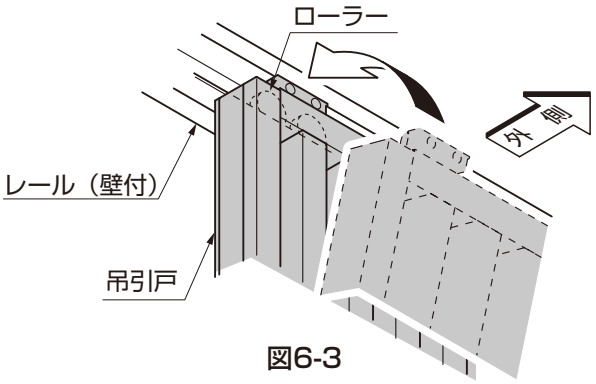


図6-3

6-2 下ローラーの取付け

①G.L.に深さ35mm以上φ6の下穴をあけ、【7-12】を取付けてください。
②下ローラー台座をG.L.に【7-13】で取付けてください。
③ガイドローラーを下ローラー台座に【7-11】で取付けてください。

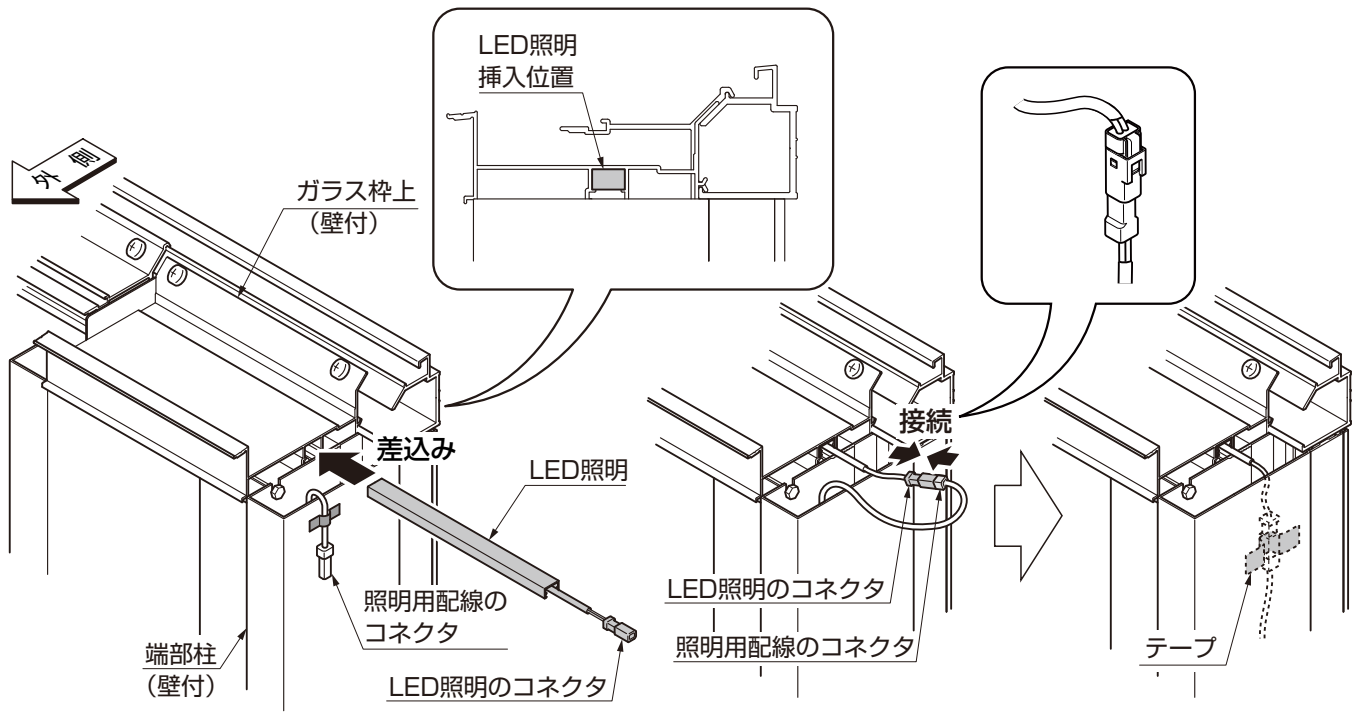
6-3 吊引戸の吊込み

①吊引戸下部の溝を下ローラーにはめてください。（図6-2参照）
②吊引戸上部のローラーをレール（壁付）に引っ掛けてください。（図6-2、図6-3参照）

6-4 下ローラー・減速部品の調整

①下ローラーのボルトを緩め、ガイドローラーの位置を調整してください。（図6-4参照）
②吊引戸の開閉を行い、戸当柱にスムーズに入るか確認してください。
③減速部品のネジを緩め、減速部品の位置を調整してください。
④吊引戸の開閉を行い、戸当柱に入れる際に減速すること、勝手に開かないことを確認してください。

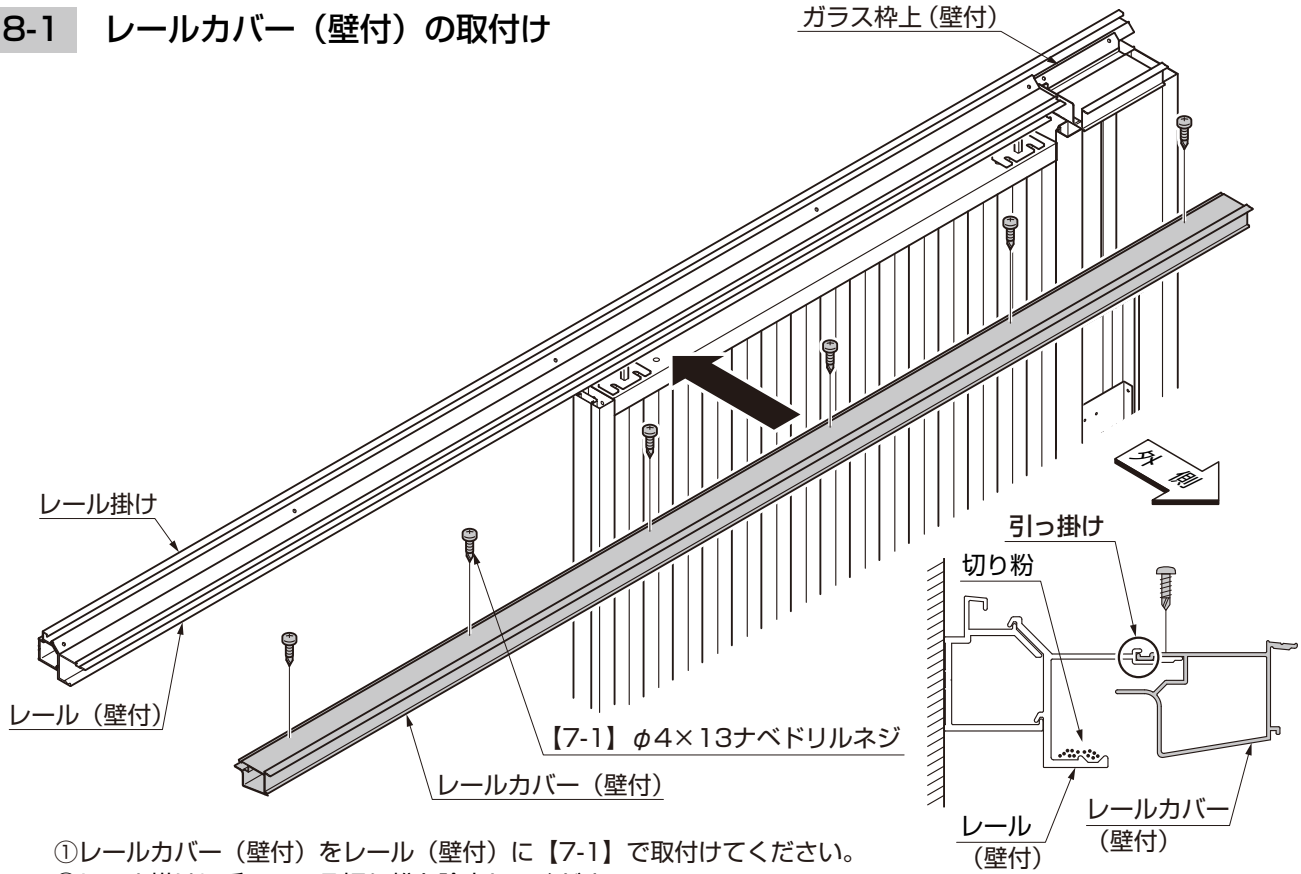
7. LED照明の取付け オプション



①LED照明をガラス枠上に差込んでください。
②LED照明のコネクタと照明用配線のコネクタを接続し、柱内部にテープ止めしてください。

8. カバーの取付け

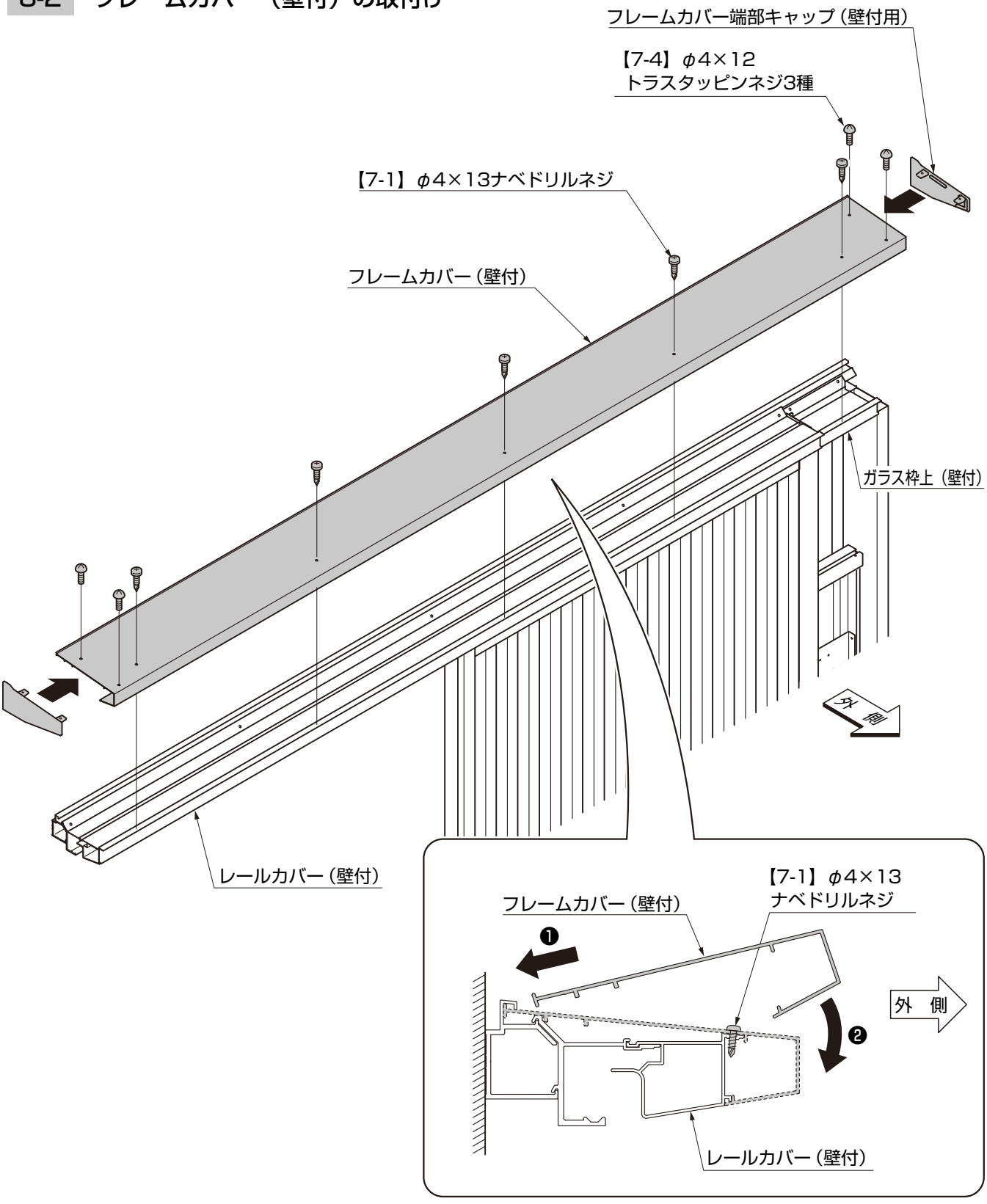
8-1 レールカバー（壁付）の取付け



①レールカバー（壁付）をレール（壁付）に【7-1】で取付けてください。
②レール掛けに乗っている切り粉を除去してください。

B075_201302A

8-2　フレームカバー（壁付）の取付け

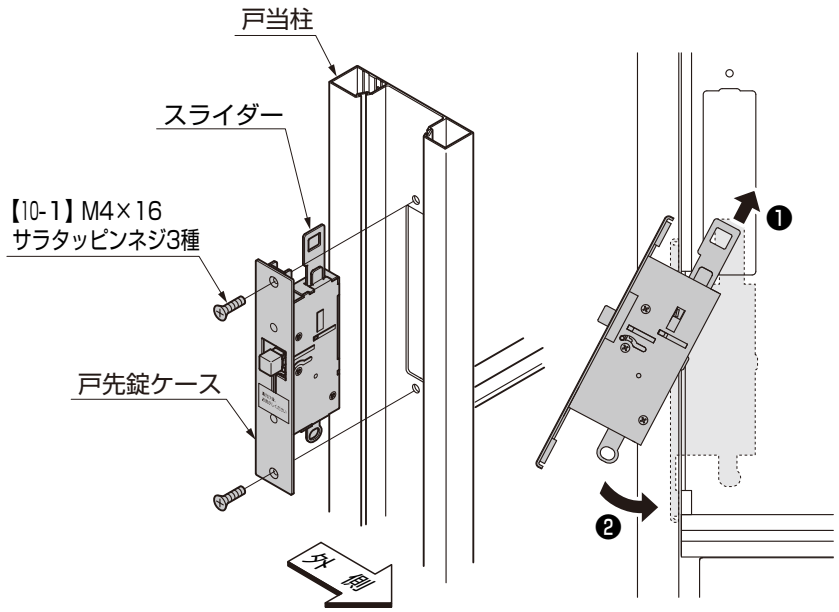


①フレームカバー（壁付）をレールカバー（壁付）とガラス枠上（壁付）に【7-1】で取付けてください。
②フレームカバー端部キャップ（壁付用）をフレームカバー（壁付）に【7-4】で取付けてください。

B075_201302A

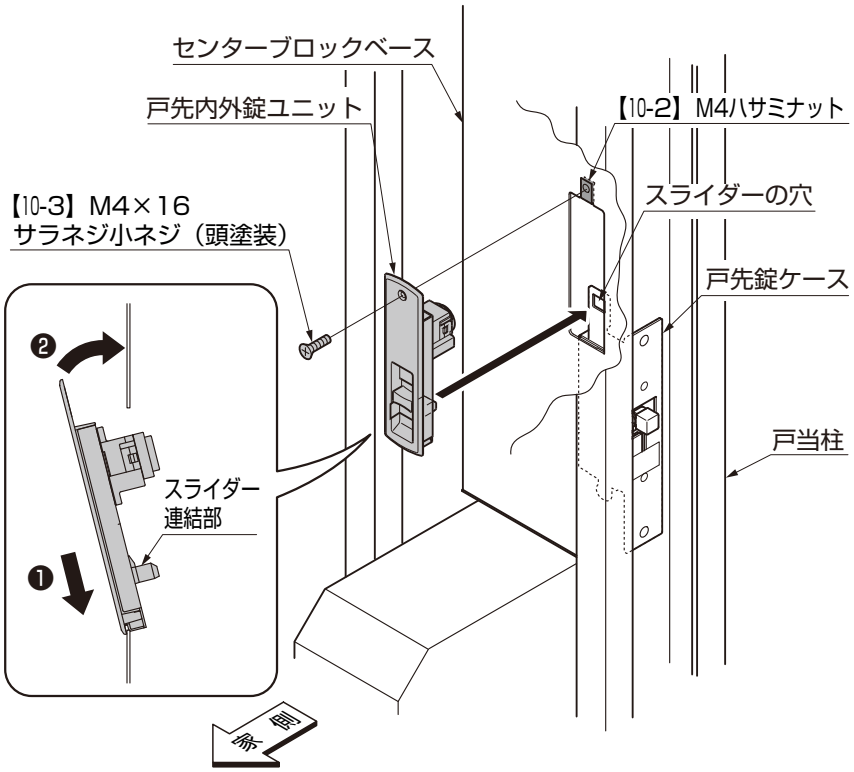
9. ファンクションユニットの組立て

9-1 戸先錠ケースの取付け

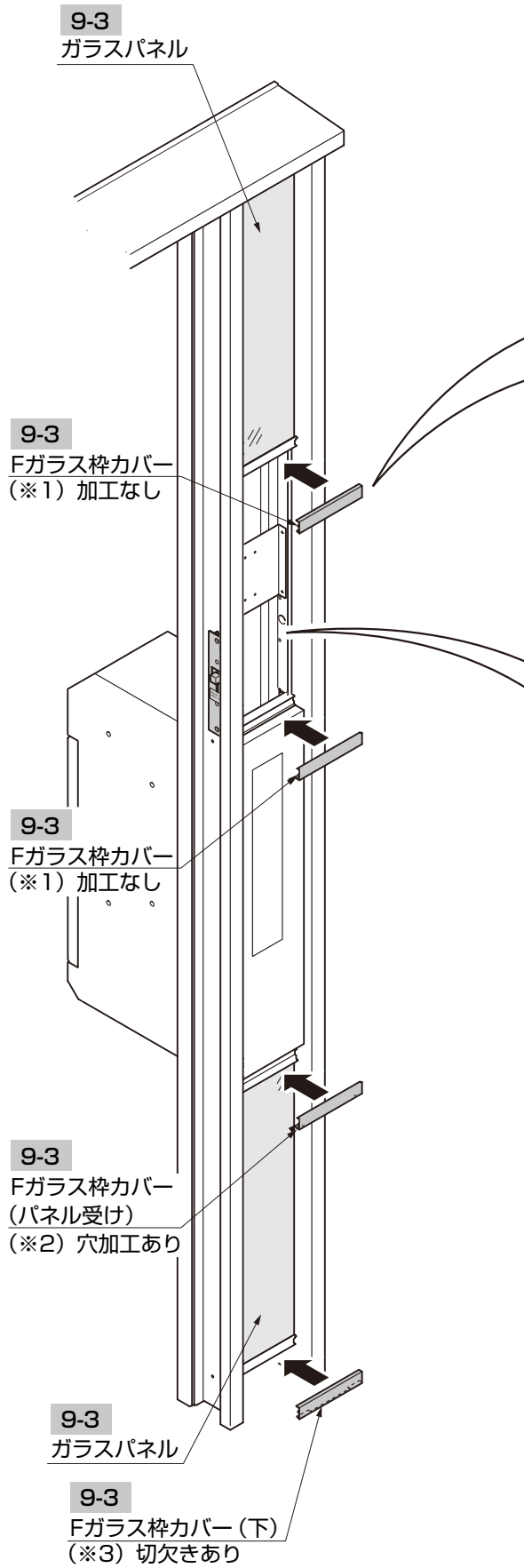


①錠ケースを錠ケース取付穴に入れて【10-1】で取付けてください。

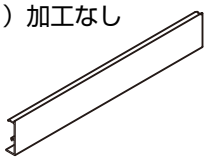
9-2 戸先内外錠ユニットの取付け



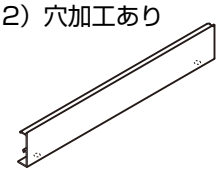
①【10-2】をセンターブロックベースにはめてください。
②戸先内外錠ユニットのスライダー連結部を戸先錠ケースのスライダーの穴に合わせ、戸先内外錠ユニットをセンターブロックベースに【10-3】で取付けてください。



Fガラス枠カバー
（※1）加工なし



Fガラス枠カバー
（パネル受け）
（※2）穴加工あり



Fガラス枠カバー（下）
（※3）切欠きあり

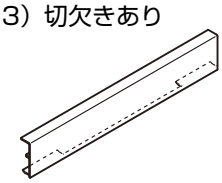
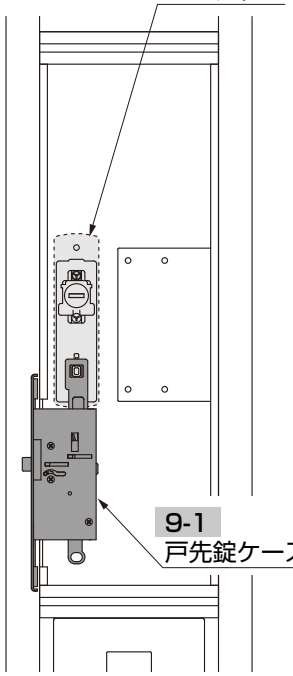


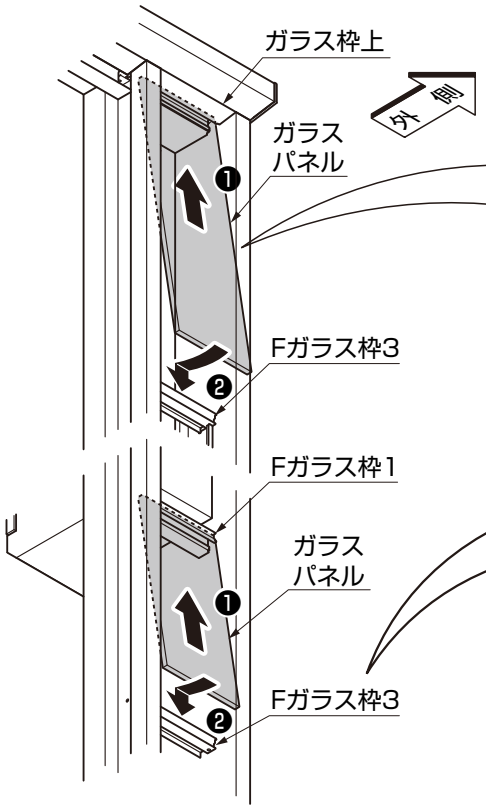
図9-1
Fガラス枠カバーの違い

9-2
戸先内外錠
ユニット

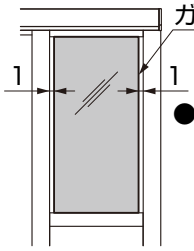


9-3 ガラスパネルの取付け

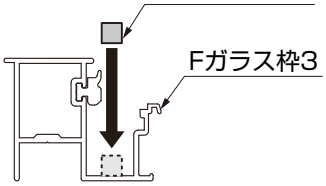
（1）ガラスパネルの取付け



ポイント

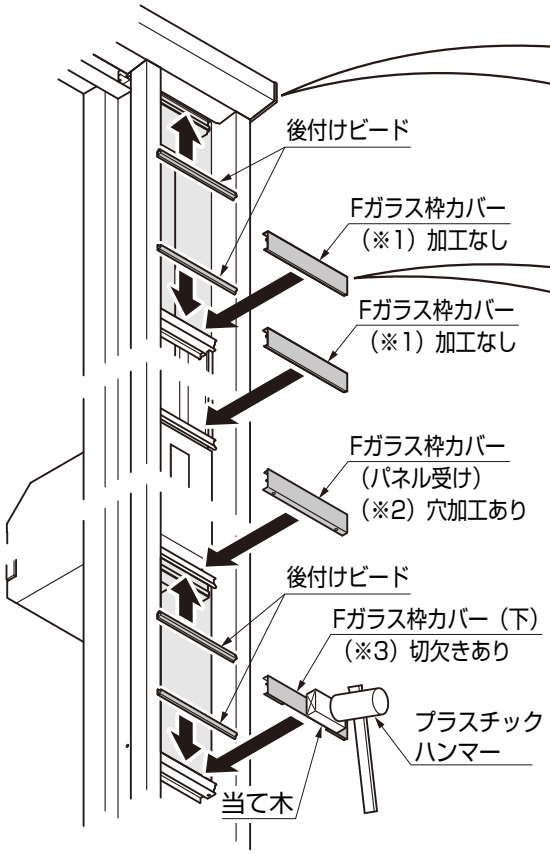


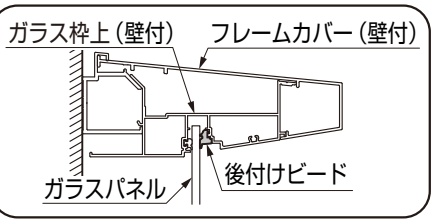
●柱とガラスの間が両側1mmになるようにしてください。（上下ともに）

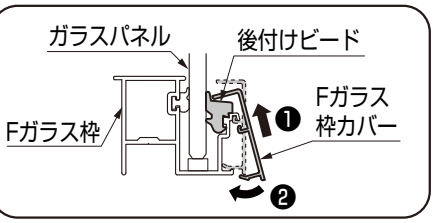


①セッティングブロック（t=10）をFガラス枠3に取付けてください。
②ガラスパネルをFガラス枠に建込んでください。

（2）Fガラス枠カバーの取付け







①後付けビードをFガラス枠に取付けてください。
②Fガラス枠カバーをFガラス枠にはめてください。

ポイント

●Fガラス枠カバーには3種類あり、取付け箇所が決まっています。（※1～※3参照）
●Fガラス枠カバーがはめにくい場合は、当て木をしてハンマーで叩き込んでください。

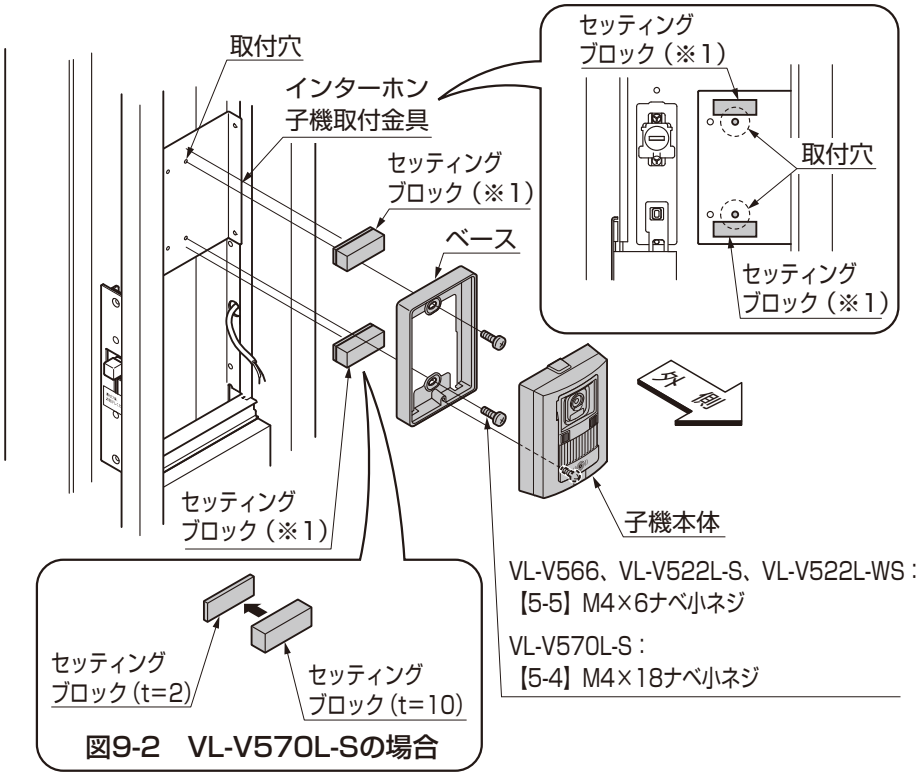
9.（つづき）

9-4 インターホンの取付け ※内蔵型の場合

ポイント

●取付けるインターホンの種類によって取付け方法が異なりますので、ご注意ください。

（1）パナソニック（株）製 VL-V566、VL-V570L-S、VL-V522L-S、VL-V522L-WSの場合



VL-V566、VL-V522L-S、VL-V522L-WS：
【5-5】M4×6ナベ小ネジ

VL-V570L-S：
【5-4】M4×18ナベ小ネジ

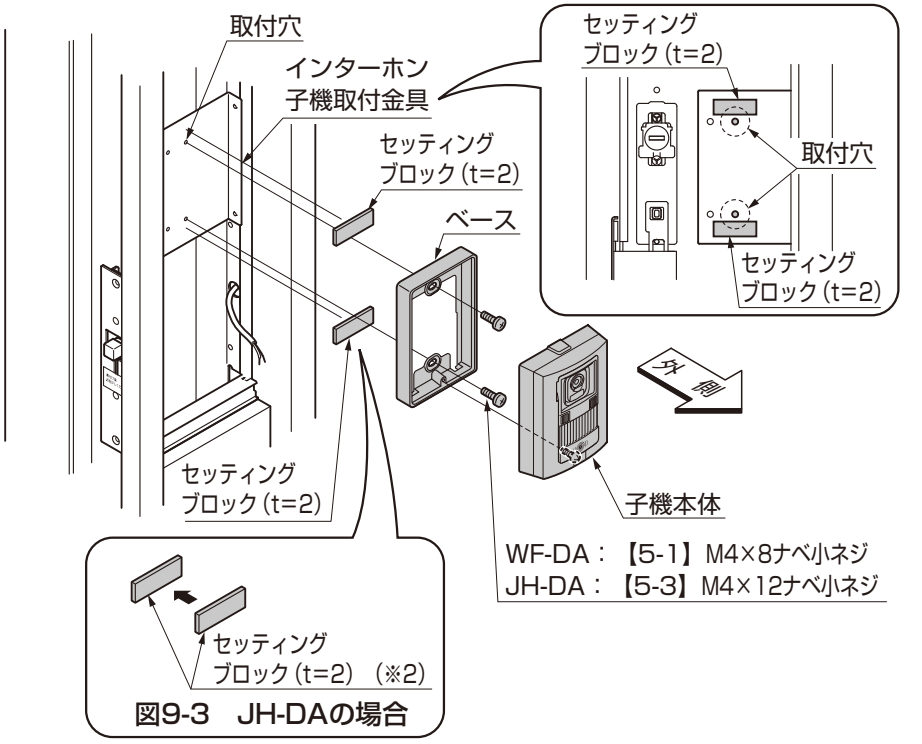
図9-2 VL-V570L-Sの場合

ポイント

●VL-V566、VL-V522L-S、VL-V522L-WSを取付ける場合は、セッティングブロックの取付けは不要です。
●VL-V570L-Sを取付ける場合はセッティングブロックをインターホン子機取付金具に取付けてください。（※1）

①ベースをインターホン子機取付金具に【5-4】または【5-5】で取付てください。
②子機本体とインターホン用の配線を接続し、子機本体をベースに本体取付ネジで取付けてください。

（2）アイホン（株）製 WF-DA、JH-DAの場合



WF-DA：【5-1】M4×8ナベ小ネジ
JH-DA：【5-3】M4×12ナベ小ネジ

図9-3 JH-DAの場合

①セッティングブロックをインターホン子機取付金具に取付けてください。

ポイント

●WF-DAを取付ける場合は、セッティングブロックを1枚ずつ取付けてください。
●JH-DAを取付ける場合はセッティングブロックを重ね貼りして、インターホン子機取付金具に取付けてください。（※2）

②ベースをインターホン子機取付金具に【5-1】または【5-3】で取付てください。
③子機本体とインターホン用の配線を接続し、子機本体をベースに本体取付ネジで取付けてください。

B075_201602D

9-5 サインの取付け

（1）ファンクションパネルの穴加工

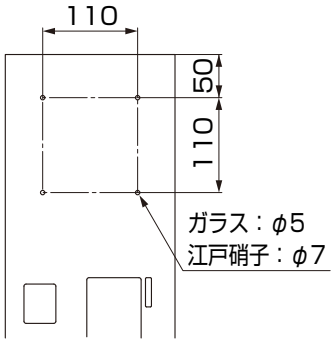


図9-4
ガラス・江戸硝子

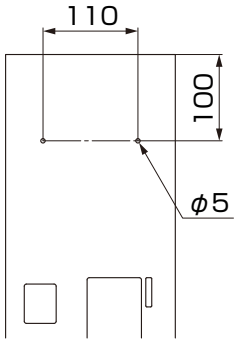


図9-5
鋳物

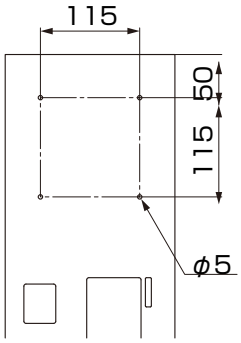
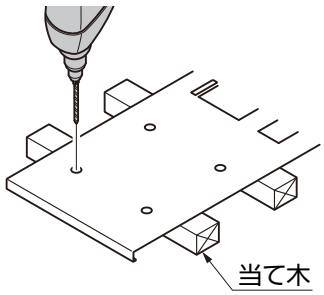


図9-6
備前焼

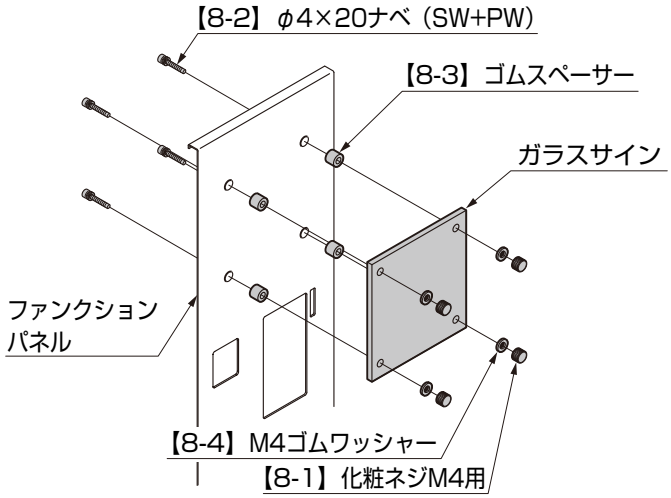
ポイント



●下穴加工をする際は、当て木をしてください。

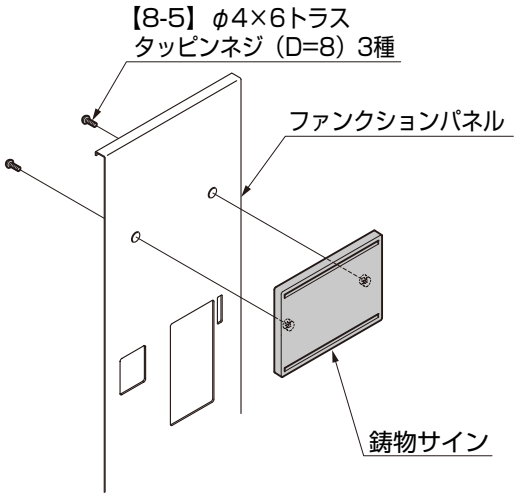
①ファンクションパネルにφ5（江戸硝子のみφ7）の穴加工をしてください。

（2）ガラスサインの取付け



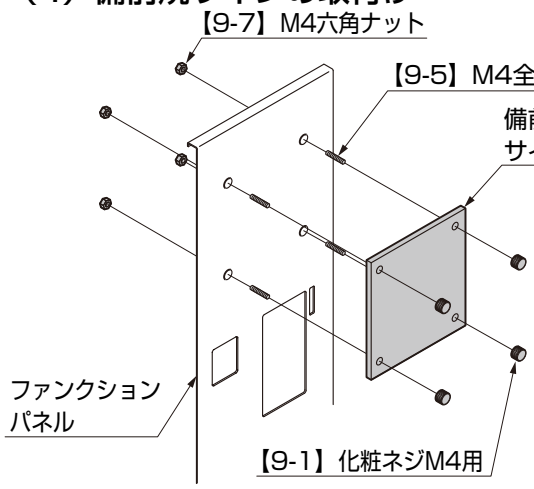
①ガラスサインをファンクションパネルに【8-1】、【8-2】、【8-3】、【8-4】で取付けてください。

（3）鋳物サインの取付け



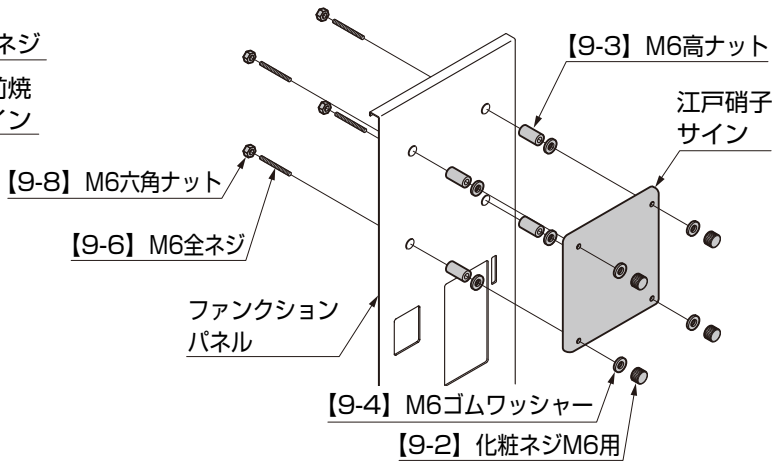
①鋳物サインをファンクションパネルに【8-5】で取付けてください。

（4）備前焼サインの取付け



①備前焼サインをファンクションパネルに【9-1】、【9-5】、【9-7】で取付けてください。

（5）江戸硝子サインの取付け

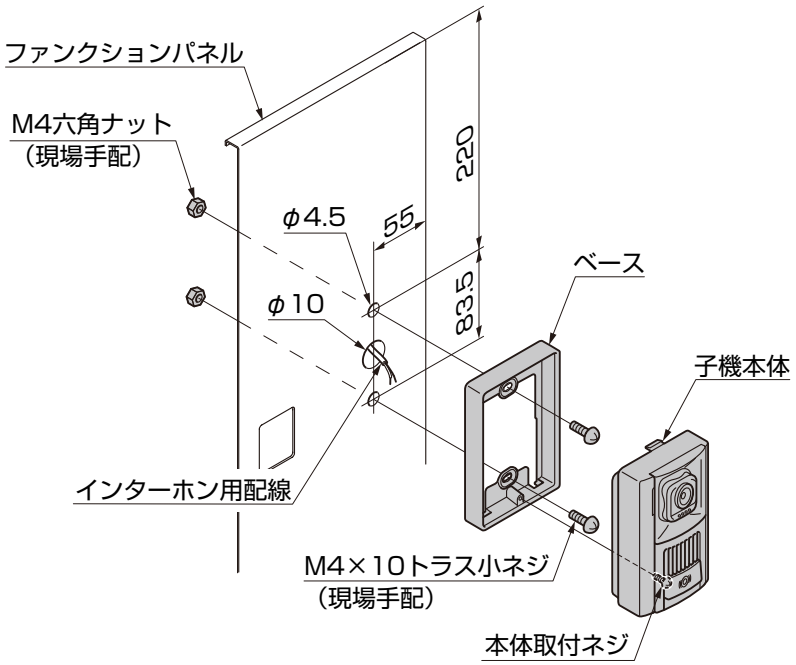


①江戸硝子サインをファンクションパネルに【9-2】、【9-3】、【9-4】、【9-6】、【9-8】で取付けてください。

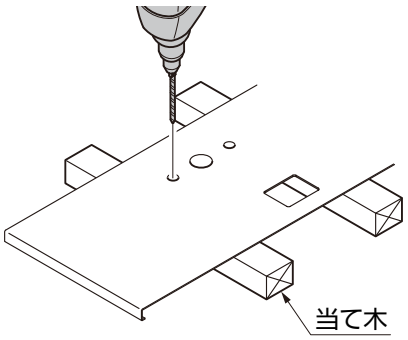
B075_201302A

9.（つづき）

9-6 インターホンの取付け ※面付型の場合



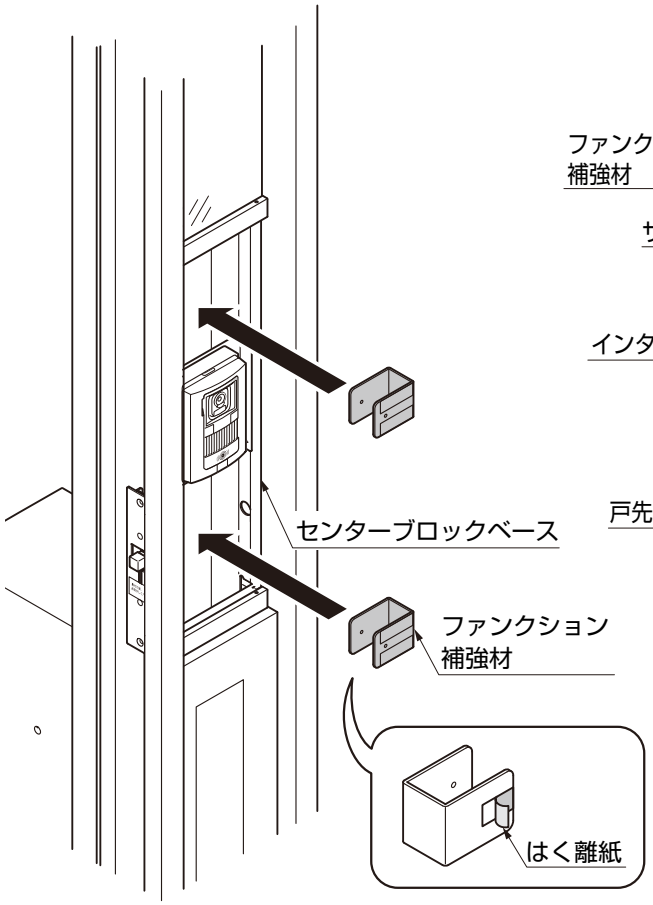
ポイント



●下穴加工をする際は、当て木をしてください。

①ファンクションパネルに穴加工をしてください。
②ベースをファンクションパネルに「M4×10トラス小ネジ」、「M4六角ナット」で取付けてください。
③子機本体の取付けおよび配線を子機本体の取付説明書を参照して行なってください。

9-7 ファンクション補強材の取付け ※図はインターホン内蔵の場合を示します。



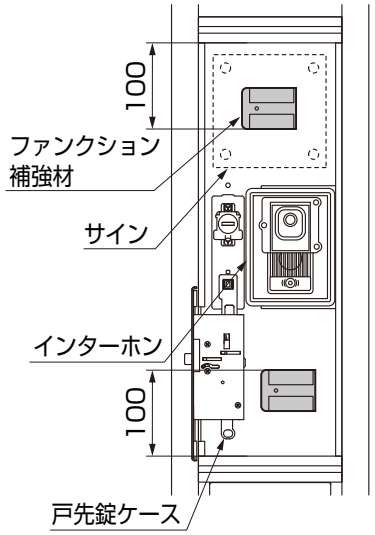


図9-7 内蔵型の場合

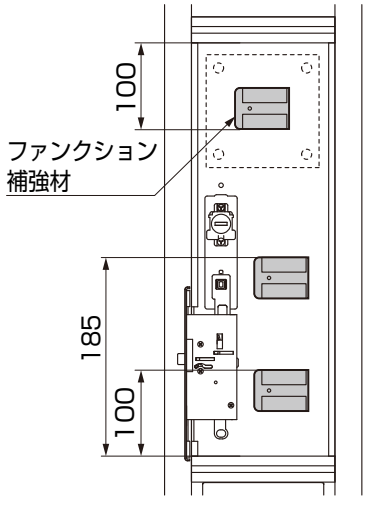


図9-8 面付型の場合

①ファンクション補強材の両面シール（1枚ついている側）をはがし、センターブロックベースに取付けてください。

ポイント

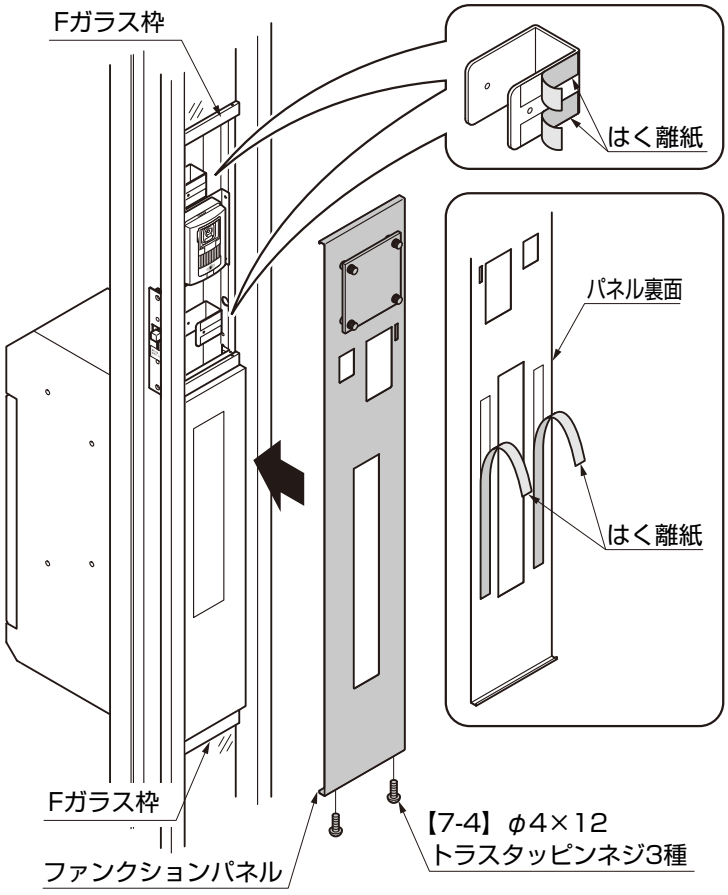
●ファンクション補強材はサイン、インターホン、戸先錠ケースに干渉しない位置に取付けてください。
●インターホン面付型の場合は、ファンクション補強材を3つ使用してください。（図9-8参照）

B075_201302A

9-8 ファンクションパネルの取付け ※図はインターホン内蔵型を示します。

ポイント

●サインの取付けやインターホンのカメラの調整を終えてから、ファンクション補強材とファンクションパネルの両面テープのはく離紙をはがしてください。



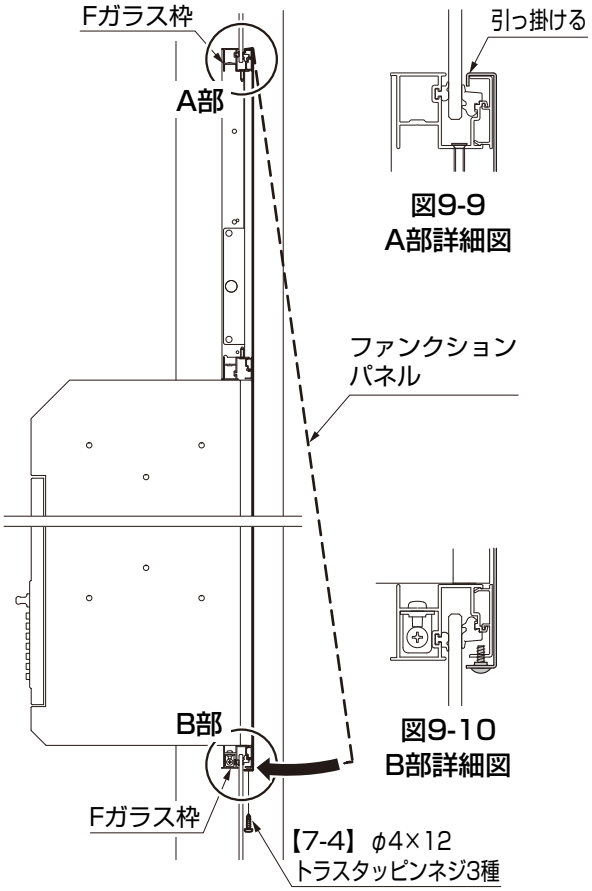
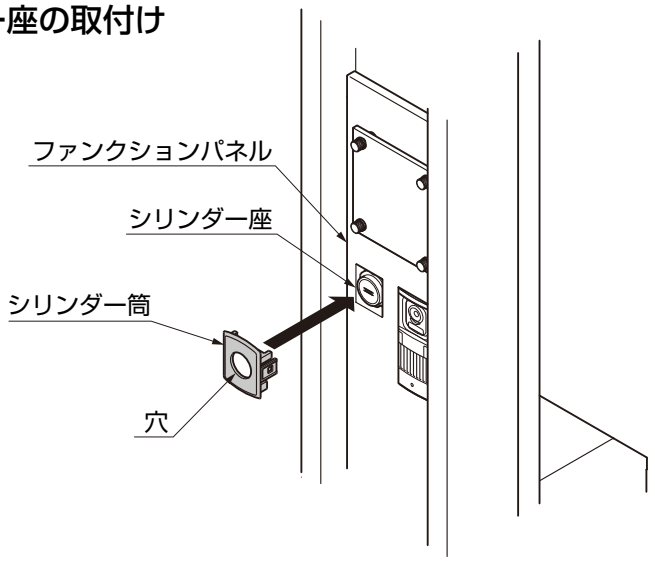


図9-9
A部詳細図

図9-10
B部詳細図

①ファンクション補強材とファンクションパネル裏面のはく離紙をはがしてください。
②ファンクションパネルをFガラス枠に【7-4】で取付けてください。

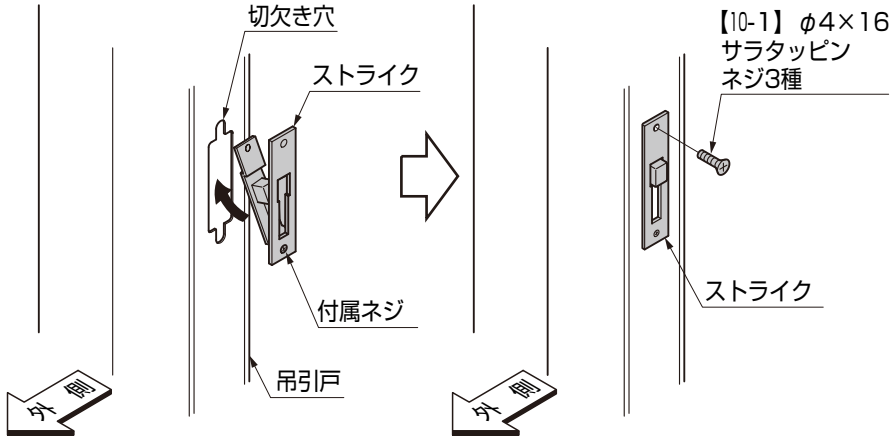
9-9 シリンダー座の取付け



①シリンダー座の穴を戸先内外錠ユニットのシリンダー筒と合わせて、ファンクションパネルにはめ込んでください。

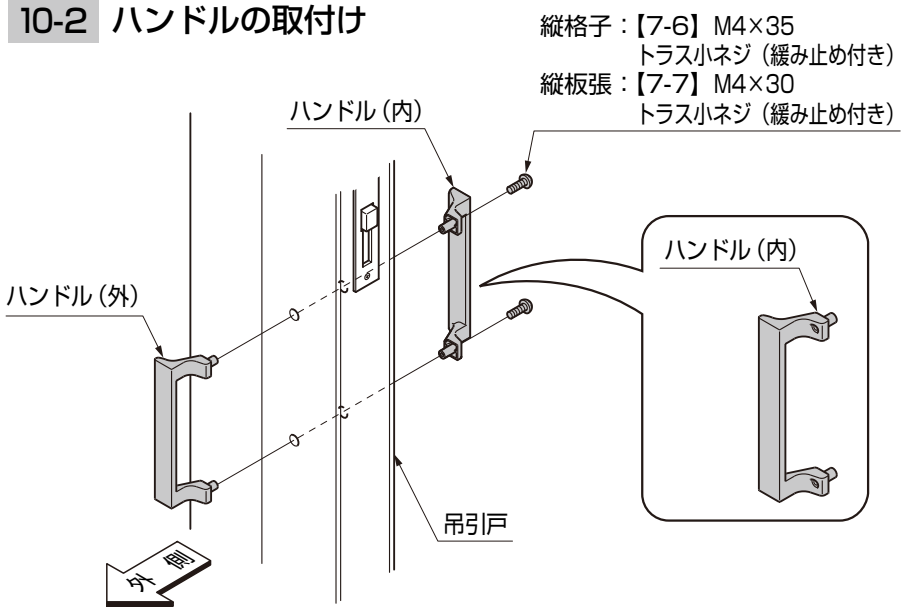
10. 吊引戸への部品の取付け

10-1 ストライクの取付け



①ストライクの付属のネジを緩めて、吊引戸の切欠き穴に差込んでください。
②緩めたネジと【10-1】で引込んで、ストライクを固定してください。

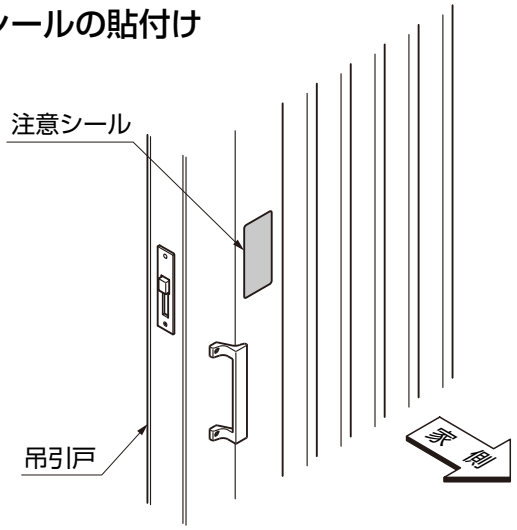
10-2 ハンドルの取付け



①ハンドルを吊引戸に【7-6】、または【7-7】で取付けてください。

11. 仕上げ

11-1 注意シールの貼付け



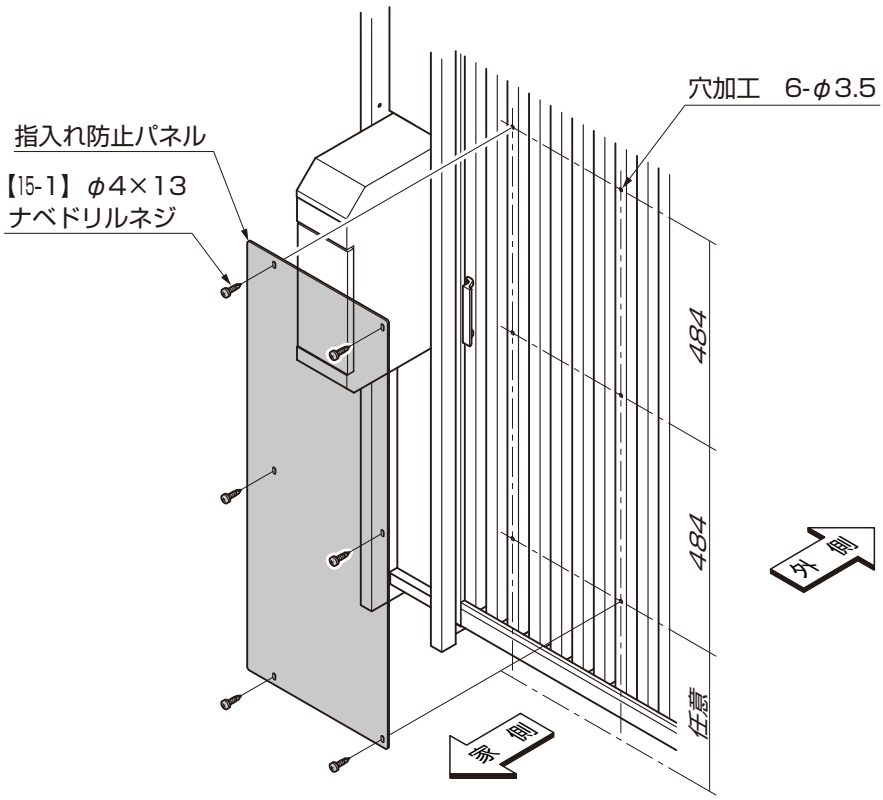
①注意シールをハンドル（内）の上部など見えやすい位置に貼付けてください。

ポイント

●注意シールは、ユーザー様が安全に使用していただくため、必ず貼付けてください。

B075_201302A

12. 指入れ防止パネルの取付け オプション ※吊引戸 縦格子の場合のみ



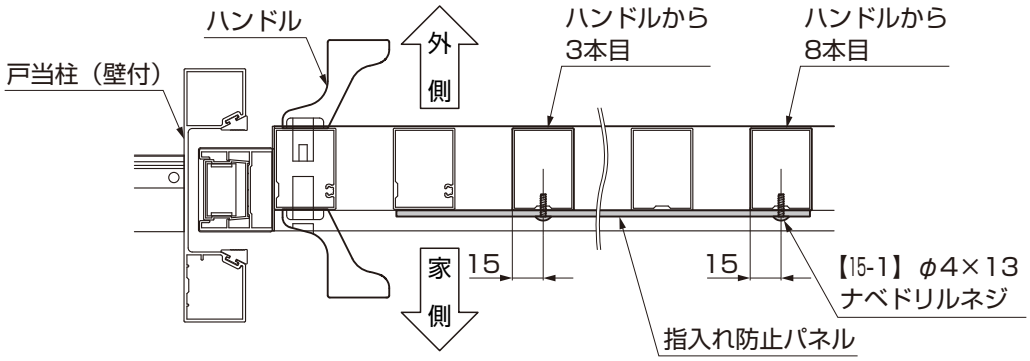


図12-1　戸当柱（壁付）側に取付ける場合

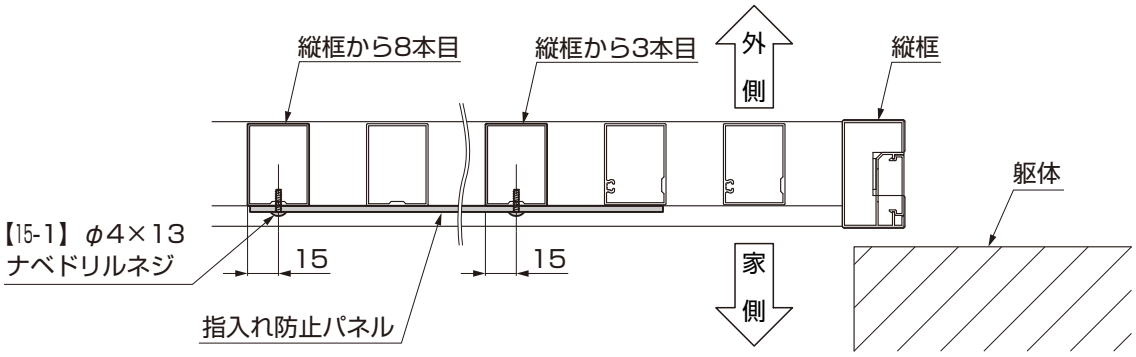


図12-2　躯体側に取付ける場合

①吊引戸にφ3.5の穴加工をしてください。
②指入れ防止パネルを吊引戸に【15-1】で取付けてください。

B075_201302A

13. 落し棒の取付け オプション

※図は吊引戸 縦格子の場合を示します。吊引戸 縦板張も同様です。

13-1 下穴加工

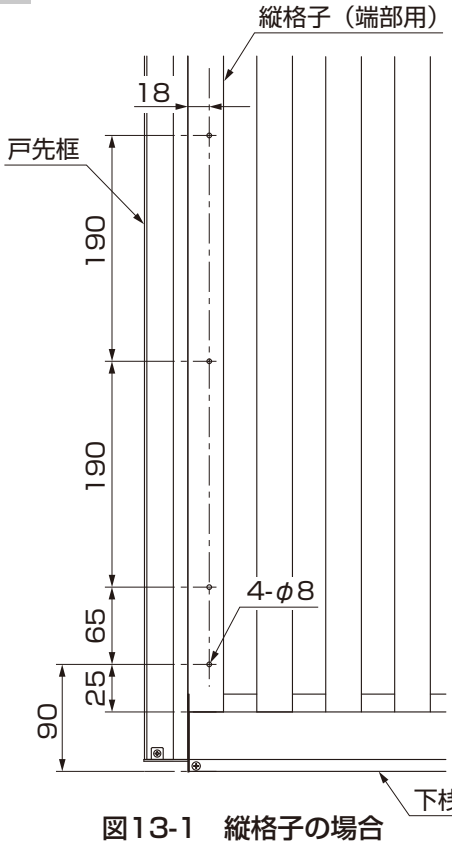


図13-1　縦格子の場合

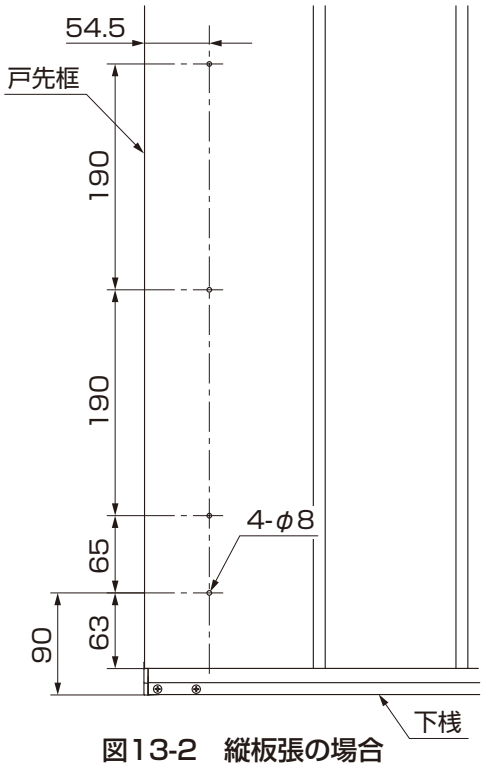
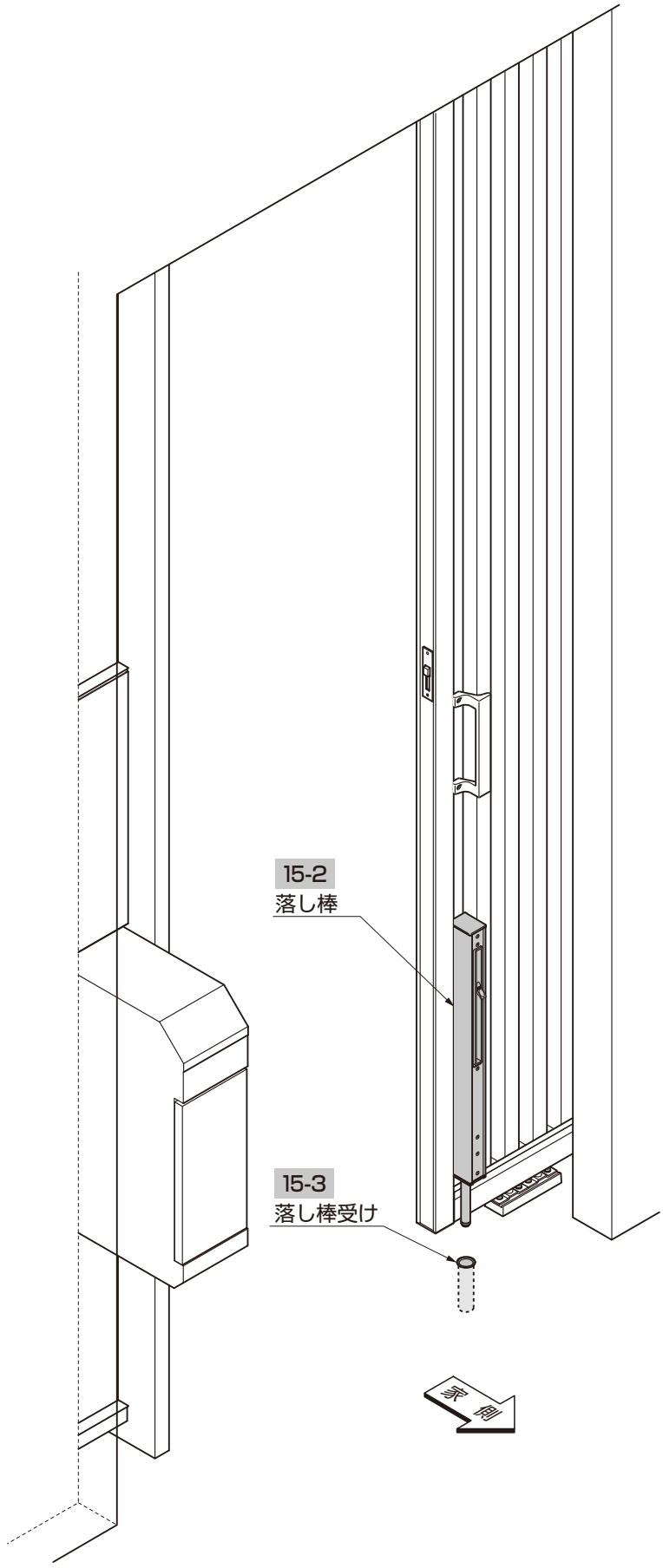
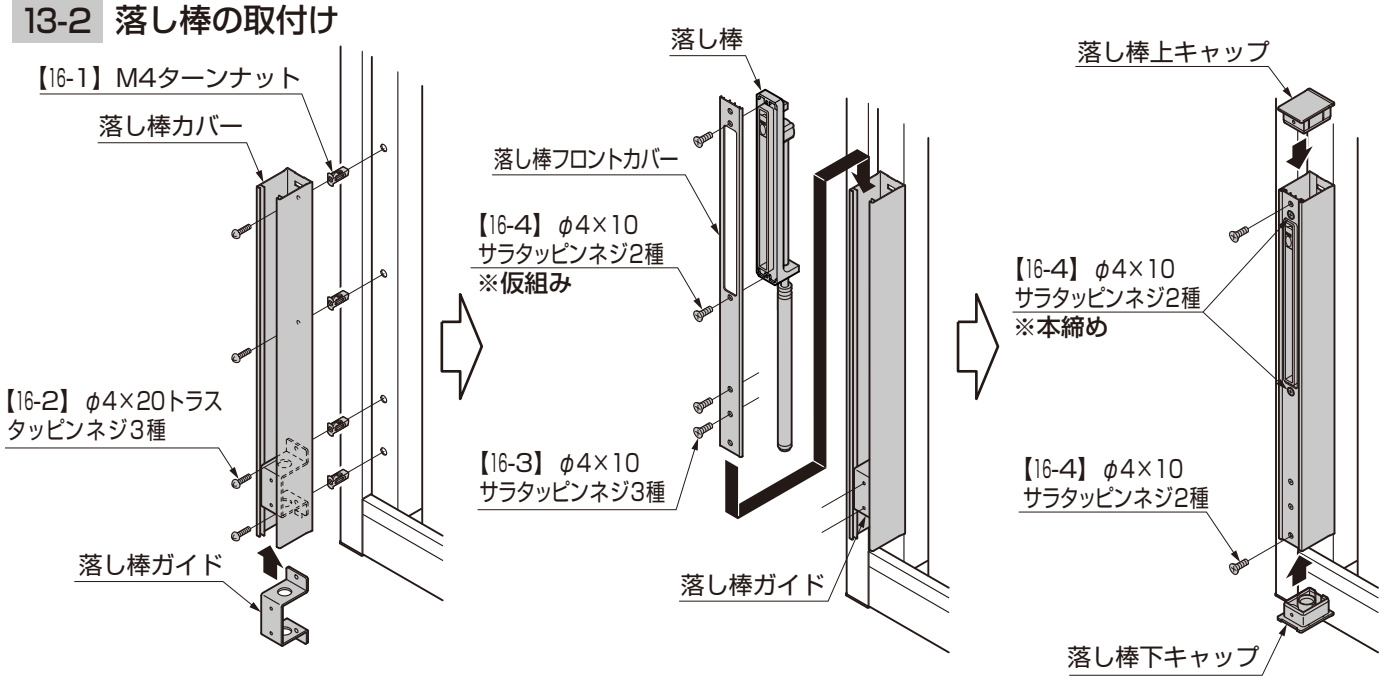


図13-2　縦板張の場合

①吊引戸の家側にφ8穴を4箇所加工してください。



13-2 落し棒の取付け



①【16-1】を加工穴に差込んでください。
②落し棒カバー、落し棒ガイドを吊引戸に【16-2】で取付けてください。

③落し棒と落し棒フロントカバーを【16-4】で仮組みしてください。
④落し棒を落し棒カバーに差込み、落し棒ガイドに【16-3】で取付けてください。

⑤仮組みしていた落し棒と落し棒フロントカバーを本締めしてください。
⑥落し棒キャップを落し棒カバーに【16-4】で取付けてください。

13-3 落し棒受けの施工

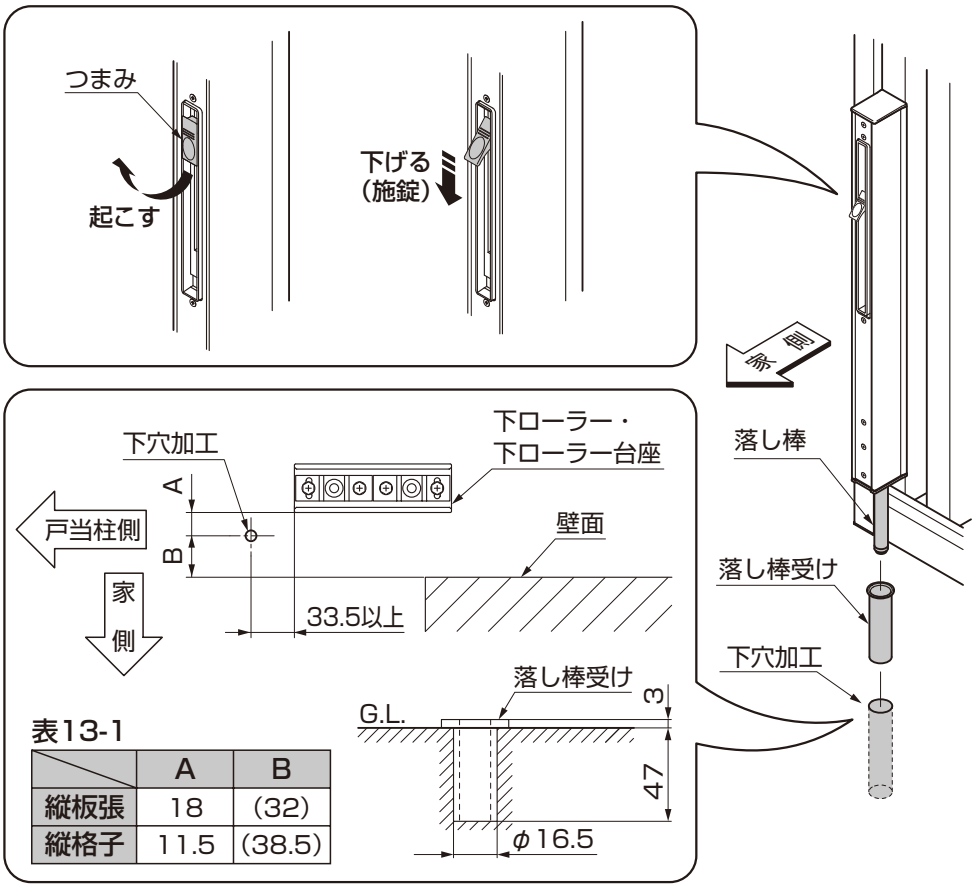


表13-1

	A	B
縦板張	18	(32)
縦格子	11.5	(38.5)

①つまみを起こし、落し棒を下げてください。

②落し棒に合わせて落し棒受けの下穴を施工してください。

③落し棒受けを加工穴に圧入してください。

ポイント

- 施錠状態で本体の落し棒の位置に合わせて落し棒受けの施工をしてください。
- 落し棒受けは吊引戸本体を開けた状態の位置に施工してください。

14. 動作確認

14-1 吊引戸の作動確認

①ハンドルに手を掛けて吊引戸を動かしてください。

確認	点検	処置
作動時に吊引戸が著しく重くありませんか	上レールのローラー走行部分にアルミの切り粉やゴミなどはありませんか	上レールのローラー走行部分を清掃してください。
	引戸の下桟のレール部分にモルタルや石、ゴミなどはありませんか	引戸の下桟のレール部分を清掃してください。
	下ローラーの調整はしましたか	下ローラーの調整をしてください。
扉が勝手に開いてしまいませんか	戸先錠の施錠をしていますか	戸先錠の施錠をしてください。
	減速部品の調整をしましたか	減速部品の調整をしてください。

14-2 錠の作動確認

①吊引戸の戸先框を戸当柱にきちんと納めてください。

確認	点検	処置
ツマミをスライドして施錠・解錠が出来ますか	ツマミの短冊は取除きましたか	施工後は不要ですので取除いてください。
	取付封印シールは取除きましたか	施工後は不要ですので取除いてください。
	ストライクの取付け方法に誤りはありませんか	上下の向きに注意して正しく取付けてください。
	戸先框と戸当柱の戸当部分のセンター位置は合っていますか	センターが合うように下ローラーの調整をしてください。

取説コード
B075
JZZ625134D
201302A_1039
201703E_1039